

第 23 回 市政世論調査

市民のこえ

【調査結果のまとめ】



©稻沢市 いなッピー

2016 稲沢市

はじめに

今回、昭和 48 年の 1 回目の調査から数えて、23 回目の「市政世論調査」を実施いたしました。

この調査は、市が推進するさまざまな施策について、広く市民の皆さんにご意見やご提案をいただくとともに、その結果を行財政運営に反映させ、魅力と活力のあるまちづくりを進めるためのものです。

今年 3 月には、市の将来を見据えた「人口ビジョン」を策定し、方向性と具体的な政策を「総合戦略」として策定しました。また、新たなまちづくりの指針となる「第 6 次稲沢市総合計画」についても平成 29 年度に向けて策定するなど、市にとって将来のまちづくりの基盤となる重要な時期となります。財政状況は依然として大変厳しいものがありますが、名鉄国府宮駅周辺の再整備や東西幹線道路の整備促進、平和工業団地の第 2 期開発による企業誘致と雇用の確保などさまざまな課題について取り組み、住むことに誇りと愛着の持てる「安心・安全で元気な稲沢」づくりの実現を目指してまいります。

今回の調査より、公職選挙法が改正され選挙権を有する年齢が満 18 歳以上に引き下げられたことを踏まえ、調査対象年齢を満 20 歳以上から満 18 歳以上に拡大しております。

また、前回の世論調査結果に基づき、事業に活用している事例を報告させていただきます。

今後も稲沢市の発展のため、市政に一層のご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。最後に、この調査にご協力いただいた多くの市民の皆さんに厚くお礼を申し上げます。

平成 28 年 12 月
稲沢市

目 次

はじめに	1
目次	2
I 調査概要	4
1 調査の目的	4
2 調査の概要	4
3 回収結果	4
4 調査結果の見方	4
5 過去の調査概要	5
II 調査結果	6
1 回答者の属性について	6
2 稲沢市について	8
問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。	8
問1－1 住みにくい理由は何ですか。	10
問2 これからも稻沢市に住みたいと思いますか。	12
問3 日頃、自宅周辺の生活環境をどのように感じていますか。	14
問4 あなたは、次の各項目についてどう思いますか。	22
問5 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。	23
問6 あなたが求める稻沢市職員の最も重要な姿を次の項目から選んでください。	26
問7 あなたが現在の稻沢市職員に備わっていないと思うものを選んでください。	26
問8 稲沢市は平成30年に市制60周年を迎えます。これを記念して市の魅力を広く発信する記念事業を実施するべきだと思いますか。	27
問8－1 記念事業では、市の魅力を発信する事業を展開することで、市民をはじめ多くのかたに参加していただきたいと考えていますが、どのように実施していくべきだと思いますか。	28
問9 稲沢市議会は、年4回定例会を開催しています。本会議を傍聴したことはありますか。	29
問9－1 その理由は何ですか。	29
問10 稲沢市議会は、本会議の様子を市役所1階市民ホールでご覧いただけます。また、本会議を傍聴できないかたのために、稻沢市ホームページで本会議の録画映像を放映しています。「本会議録画映像」を見たことがありますか。	30
問10－1 その理由は何ですか。	30

問 11 稲沢市議会では、議会の情報を発信する「市議会だより」を年4回発行し、「広報 いなざわ」と併せて市民のかたに配布しています。「市議会だより」を読んだこと はありますか。	31
問 11-1 その理由は何ですか。	31
問 12 あなたは、今まで稲沢市図書館を利用したことがありますか。	32
問 12-1 利用したことがない理由は何ですか。	33
問 13 古紙などの資源の排出は、どの方法を最も利用していますか。	35
問 14 飲料水として、最も利用する水は何ですか。	36
問 14-1 その理由は何ですか。	37
問 15 地震など災害時における飲料水対策をどのようにしていますか。	38
問 16 稲沢市では、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。お住まいの住宅 の義務となる場所（寝室・こども部屋・階段上部）に住宅用火災警報器は設置さ れていますか。	39
問 16-1 住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。	39
問 16-2 作動確認を実施した結果について選んでください。	40
問 17 お住まいの住宅はいつ建てられましたか。	40
問 17-1 家族構成について選んでください。	40
問 18 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものがありますか。	41
問 19 日頃から健康維持・増進のために早歩きや階段を使ったりするなど、意識的に体 を動かすように心掛けていますか。	42
問 20 1日に30分以上歩いていますか。	44
問 21 朝食を毎日食べていますか。	46
問 22 あなたや家族のかたが病気などになったとき、稲沢市民病院を利用しますか。	48
問 22-1 その理由は何ですか。	50
III 前回の調査結果により事業に活用した事例の進捗状況.....	52

I 調査概要

1 調査の目的

市民生活の実態や、市民志向の調査、市政に対する意見・提言の調査を行い、データなどの集約・分析によって、現状把握の中から行政施策の立案・実態把握の基礎資料とします。

2 調査の概要

- (1) 調査地域 : 稲沢市全域
- (2) 調査対象者 : 満 18 歳以上の市民のかた 2,500 人（無作為抽出）
- (3) 調査期間 : 平成 28 年 8 月 1 日から 8 月 13 日まで
- (4) 調査方法 : 郵送配布・郵送回収による郵送調査法

3 回収結果

配布数	有効回答数	有効回答率
2,500 通	1,390 通	55.6%

4 調査結果の見方

- 図表中の「N数 (number of case)」は集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を示しています。
 - グラフ中の「%」は、小数第 2 位を四捨五入しているため、単数回答の設問（1 つだけに○をつけるもの）であっても合計が 100%にならない場合があります。また、複数回答の設問の場合（あてはまるものすべてに○をつけるものなど）は「N」に対する各選択肢の回答者数の割合を示していますので、合計が 100%を超える場合があります。
 - 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
 - 設問に対する回答数が「あてはまるもの全てに○」の場合、各N数と調査結果の割合から割戻した数の合計が一致しない場合があります。
 - グラフ中の選択肢は、原則として調査票に記載された表現のまま記載しています。
 - 調査結果を図表で表示していますが、グラフ以外の集計表（クロス集計）は、最も高い割合のものを網かけしています。（「無回答」を除く）
- ※クロス集計とは…複数項目の組み合わせで分類した集計のこと、複数の質問項目を交差して並べ表を作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法

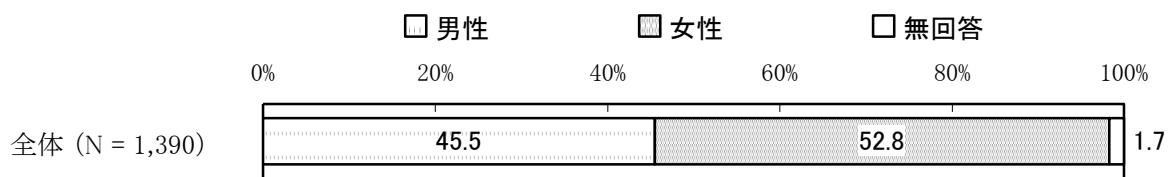
5 過去の調査概要

区分	調査年月日	調査人数	回答人数	回収率	調査方法
第 1 回	昭和 48 年7月	1,000 人	805 人	80.5%	個別面接法
第 2 回	昭和 49 年9月	2,000 人	1,418 人	70.9%	郵送法
第 3 回	昭和 50 年9月	2,000 人	1,461 人	73.1%	郵送法
第 4 回	昭和 52 年6月	2,000 人	1,402 人	70.1%	郵送法
第 5 回	昭和 54 年7月	2,000 人	1,579 人	79.0%	郵送法
第 6 回	昭和 56 年7月	2,500 人	1,929 人	77.2%	郵送法
第 7 回	昭和 58 年7月	2,500 人	1,893 人	75.7%	郵送法
第 8 回	昭和 60 年7月	2,500 人	1,936 人	77.4%	郵送法
第 9 回	昭和 62 年6月	2,500 人	1,878 人	75.1%	郵送法
第 10 回	平成元年6月	2,500 人	1,768 人	70.7%	郵送法
第 11 回	平成4年6月	2,500 人	1,775 人	71.0%	郵送法
第 12 回	平成6年7月	2,500 人	1,801 人	72.0%	郵送法
第 13 回	平成8年7月	2,500 人	1,685 人	67.4%	郵送法
第 14 回	平成 10 年7月	2,500 人	1,767 人	70.7%	郵送法
第 15 回	平成 12 年7月	2,500 人	1,699 人	68.0%	郵送法
第 16 回	平成 14 年7月	2,500 人	1,660 人	66.4%	郵送法
第 17 回	平成 16 年7月	2,500 人	1,598 人	63.9%	郵送法
第 18 回	平成 18 年7月	2,500 人	1,625 人	65.0%	郵送法
第 19 回	平成 20 年8月	2,500 人	1,598 人	63.9%	郵送法
第 20 回	平成 22 年8月	2,500 人	1,637 人	65.5%	郵送法
第 21 回	平成 24 年8月	2,500 人	1,624 人	65.0%	郵送法
第 22 回	平成 26 年 11 月	2,500 人	1,699 人	68.0%	郵送法

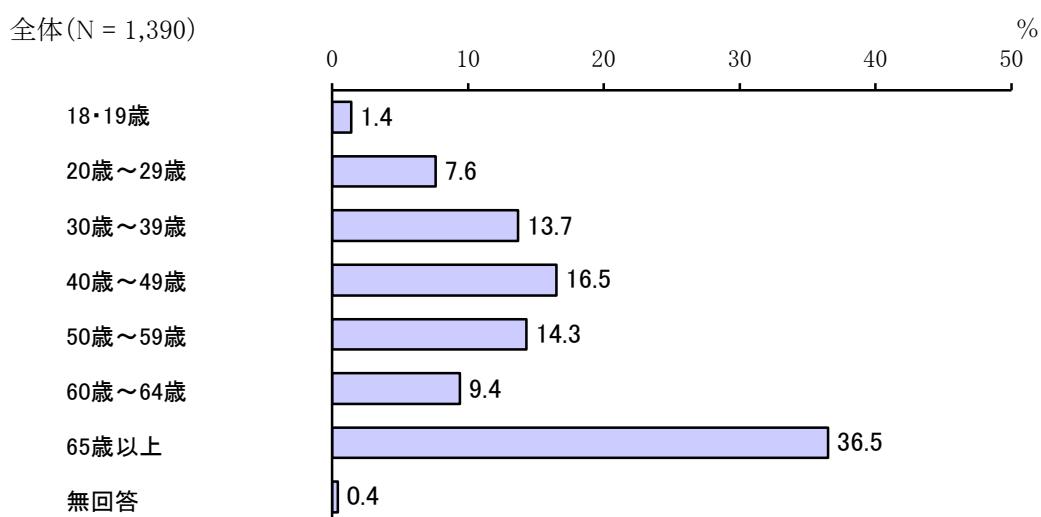
II 調査結果

1 回答者の属性について

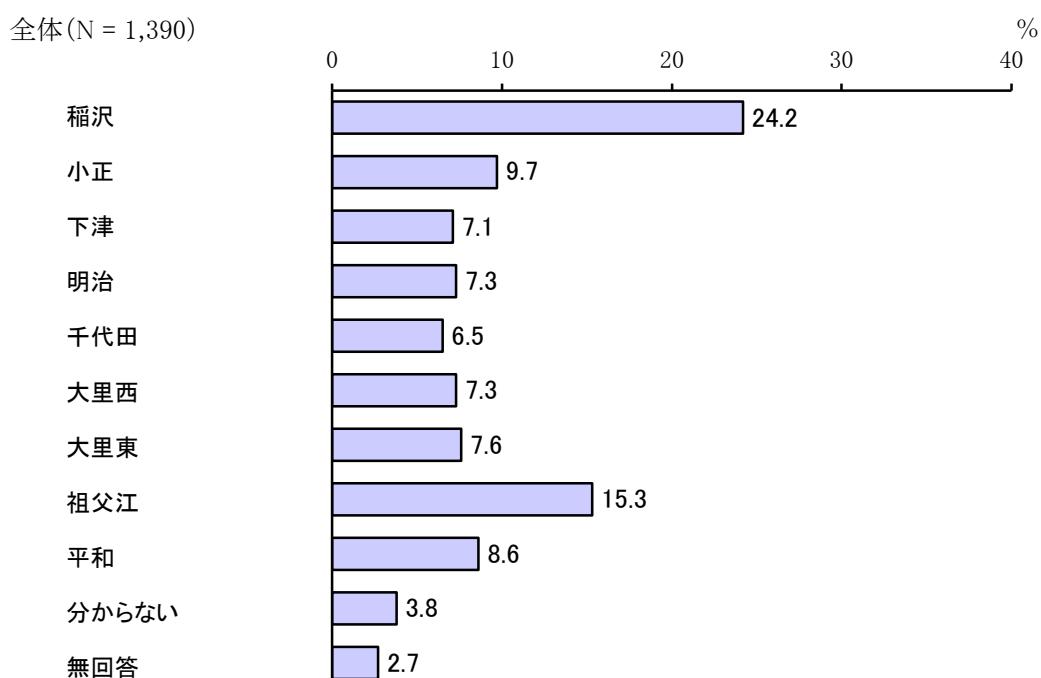
性別をお答え下さい。(どちらかに○)



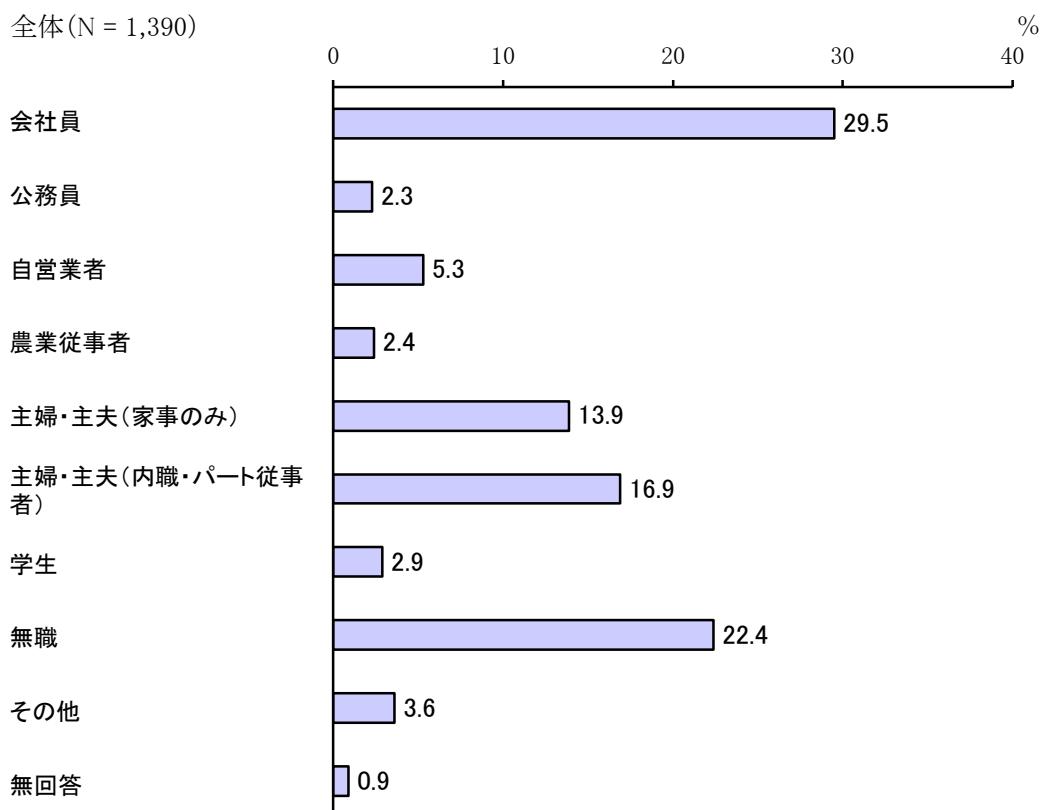
満年齢は何歳代ですか。(○は1つだけ)



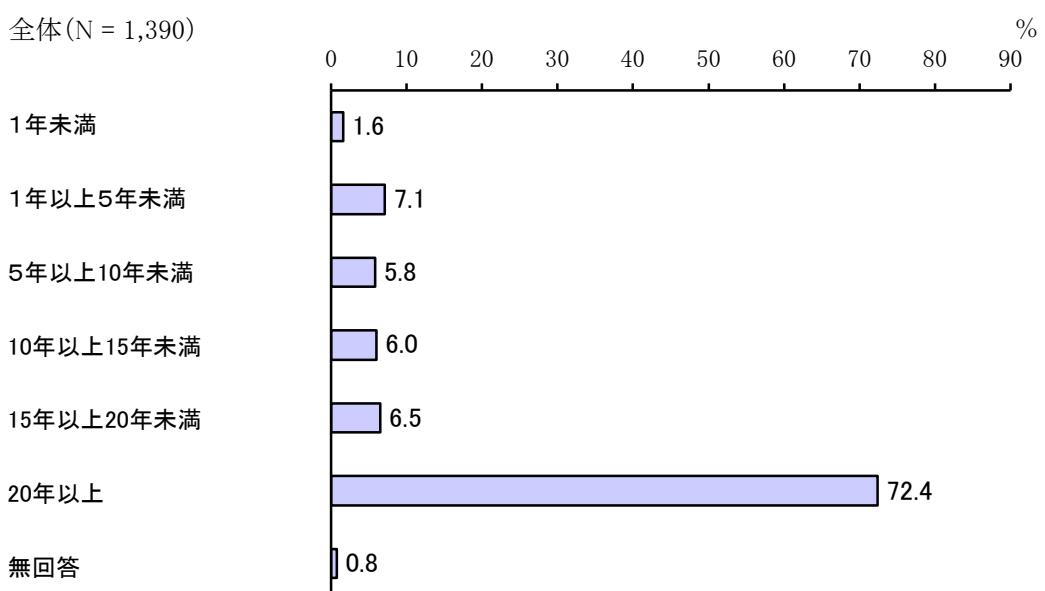
お住まいの小学校区はどちらですか。(○は1つだけ)



ご職業をお答えください。(○は1つだけ)

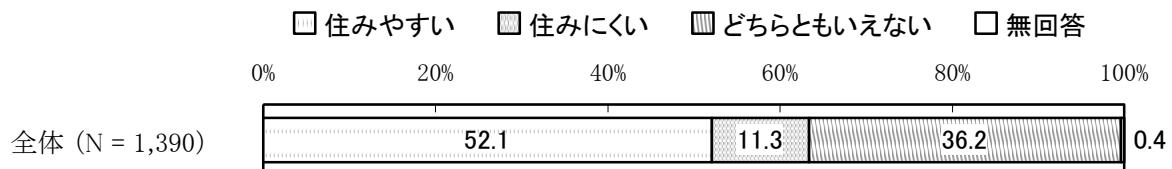


稲沢市の居住年数をお答えください。(○は1つだけ)

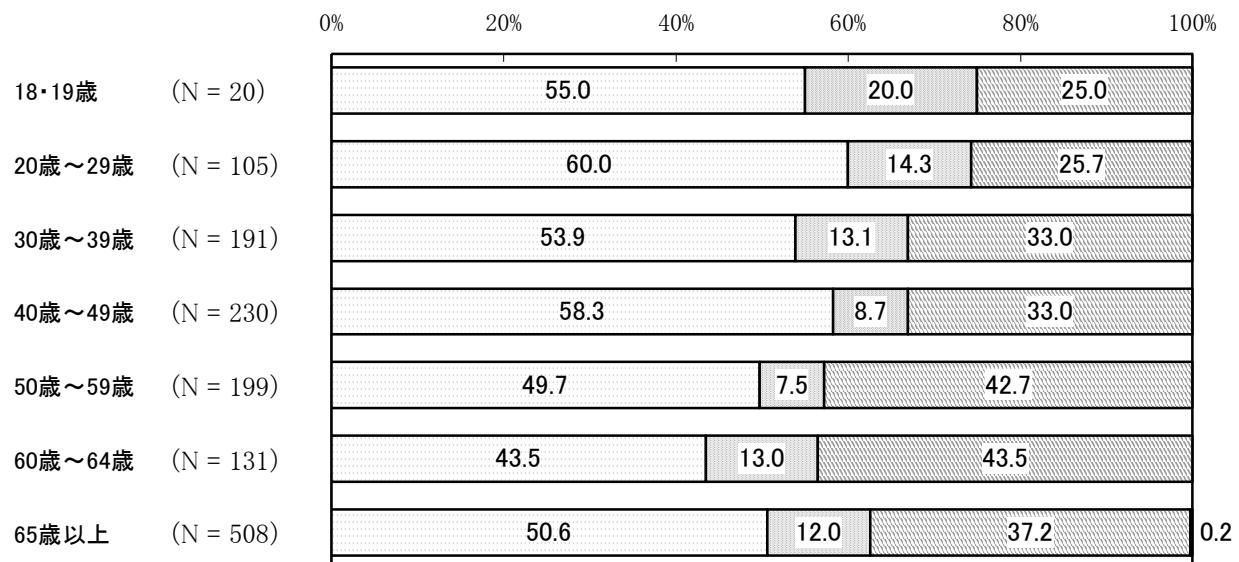


2 稲沢市について

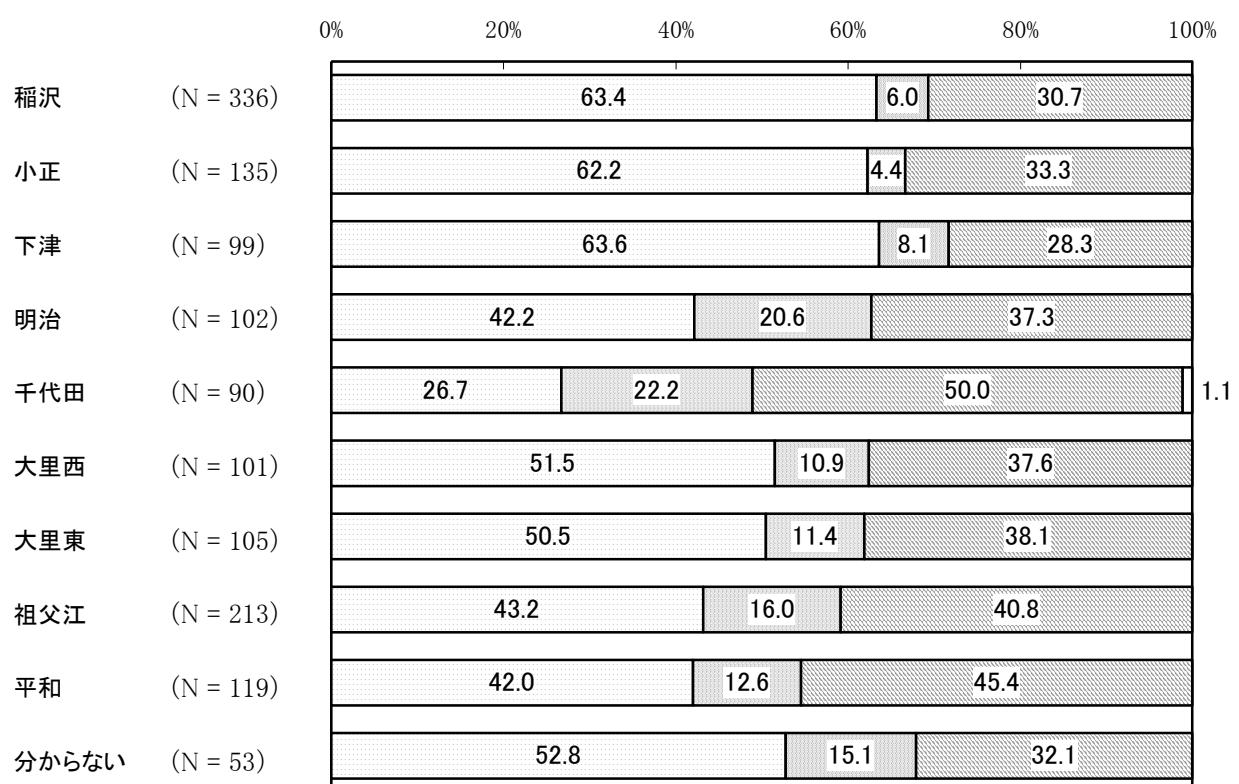
問1 稲沢市を住みやすいところだと感じますか。(○は1つだけ)



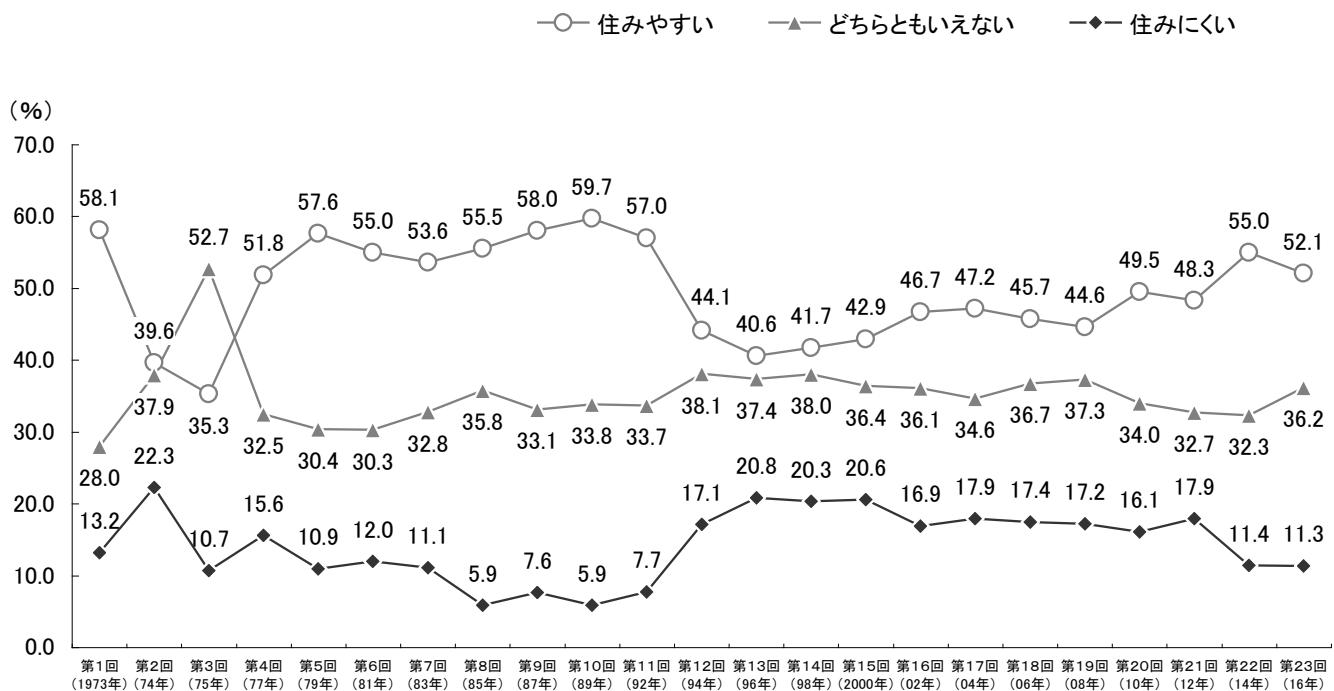
【年齢別】



【居住地区別】



【過去調査との比較】



●住みやすいと感じているかたは約5割

稻沢市を住みやすいところだと感じているかたは、全体で「住みやすい」が 52.1%、「住みにくい」が 11.3%、「どちらともいえない」が 36.2% となっています。

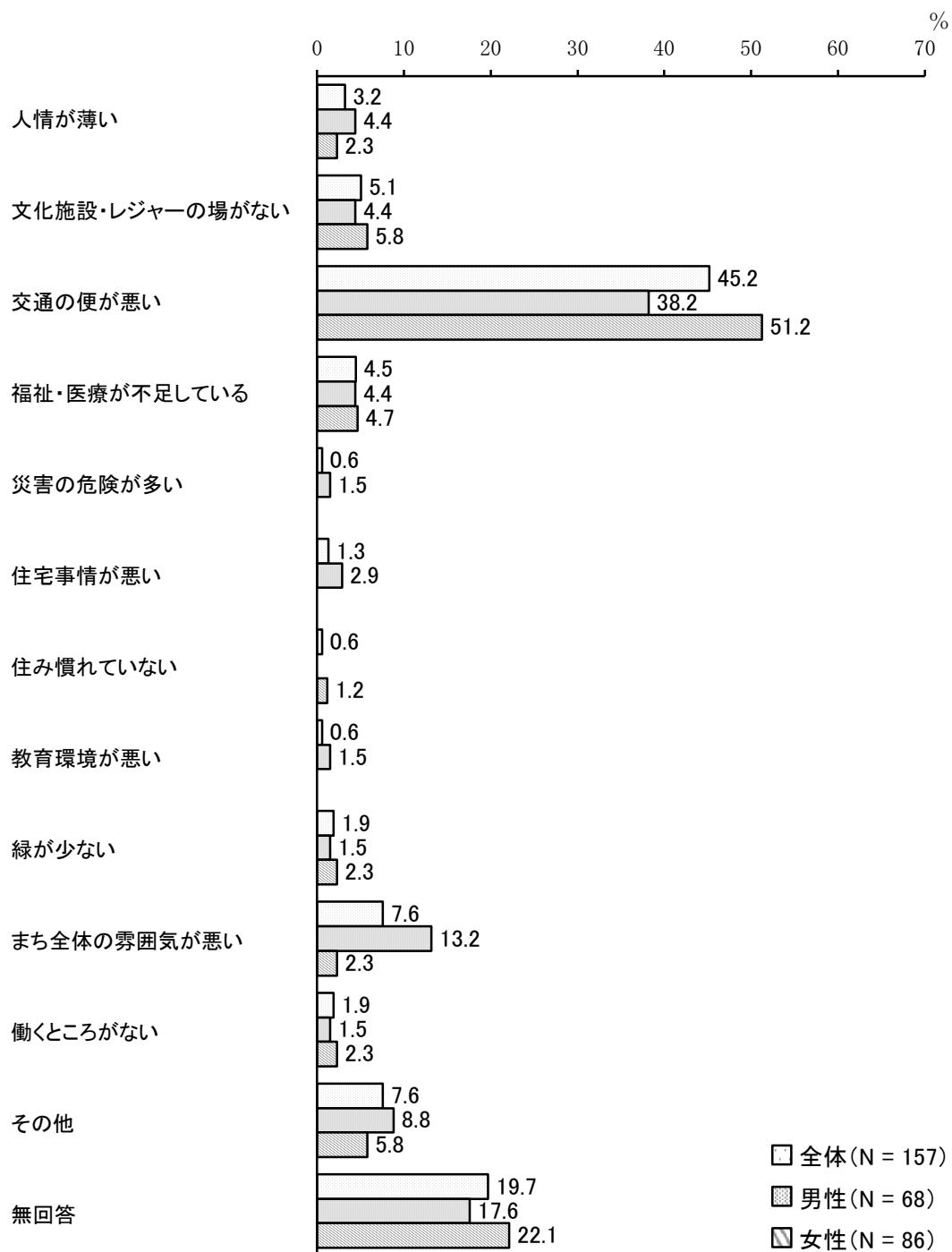
前回調査と比べると、「住みやすい」は 2.9 ポイント低くなっているが 50% を超えています。「住みにくい」はわずかに低くなっています。

年齢別でみると、20 歳～29 歳で「住みやすい」と感じているかたの割合が他の年代と比べ高くなっています。また、18・19 歳については「住みにくい」と感じているかたの割合は 20.0% と他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、稻沢・小正・下津地区は「住みやすい」と感じているかたの割合が高くなっているのに対し、千代田・明治地区では「住みにくい」と感じているかたの割合が他の居住地区と比べて高くなっています。

問1で「2. 住みにくい」と答えたかたにお聞きします。

問1-1 住みにくい理由は何ですか。(○は1つだけ)



【居住地区別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	人情が薄い	文化施設・レジャーの場がない	交通の便が悪い	ている福祉・医療が不足し	災害の危険が多い	住宅事情が悪い	住み慣れていない	教育環境が悪い	縁が少ない	が悪いまち全体の雰囲気	働くところがない	その他	無回答
稻沢	20	15.0	5.0	15.0	15.0	—	—	—	5.0	5.0	10.0	—	—	30.0
小正	6	—	16.7	33.3	—	—	—	—	—	—	16.7	—	—	33.3
下津	8	—	12.5	37.5	—	—	12.5	—	—	12.5	12.5	—	—	12.5
明治	21	—	4.8	66.7	4.8	—	—	—	—	—	9.5	—	4.8	9.5
千代田	20	—	15.0	55.0	—	—	—	—	—	—	5.0	—	5.0	20.0
大里西	11	—	9.1	36.4	9.1	—	—	—	—	—	—	9.1	—	36.4
大里東	12	—	—	41.7	—	—	—	8.3	—	—	8.3	—	16.7	25.0
祖父江	34	—	—	50.0	2.9	2.9	—	—	—	—	5.9	2.9	14.7	20.6
平和	15	—	—	66.7	—	—	—	—	—	—	6.7	6.7	13.3	6.7
分からぬ	8	25.0	—	25.0	12.5	—	12.5	—	—	12.5	—	—	—	12.5

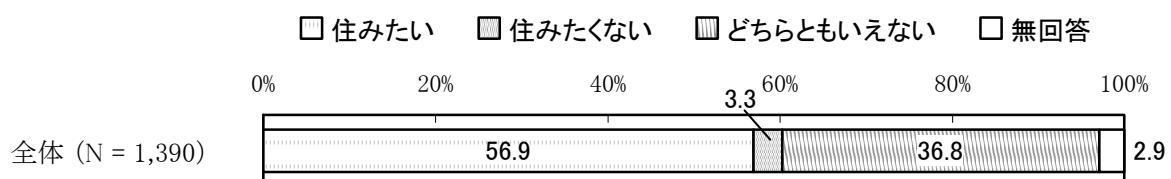
●住みにくい理由は「交通の便が悪い」から

住みにくい理由は、全体で「交通の便が悪い」が 45.2%と最も高く、次いで「まち全体の雰囲気が悪い」が 7.6%、「文化施設・レジャーの場がない」が 5.1%となっています。

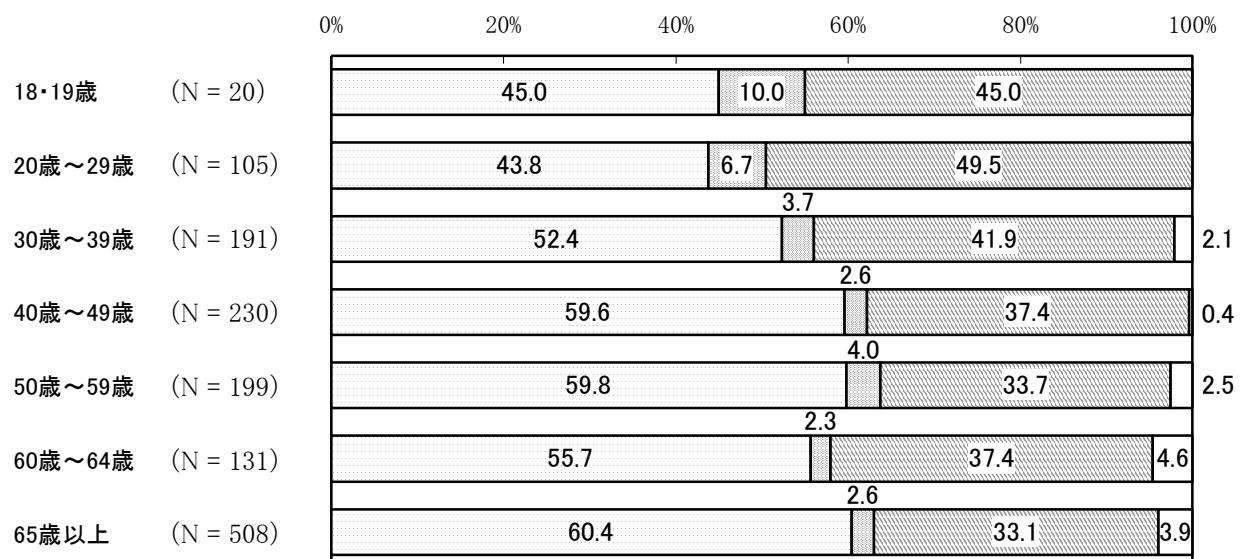
性別でみると、男性は「交通の便が悪い」「まち全体の雰囲気が悪い」が、女性は「交通の便が悪い」「文化施設・レジャーの場がない」が高くなっています。

居住地区別にみると、全ての居住地区で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。このほか、稻沢地区では「人情が薄い」「福祉・医療が不足している」、小正・下津・千代田地区では共通して「文化施設・レジャーの場がない」が、大里東・祖父江・平和地区では共通して「まち全体の雰囲気が悪い」が次いで高くなっています。

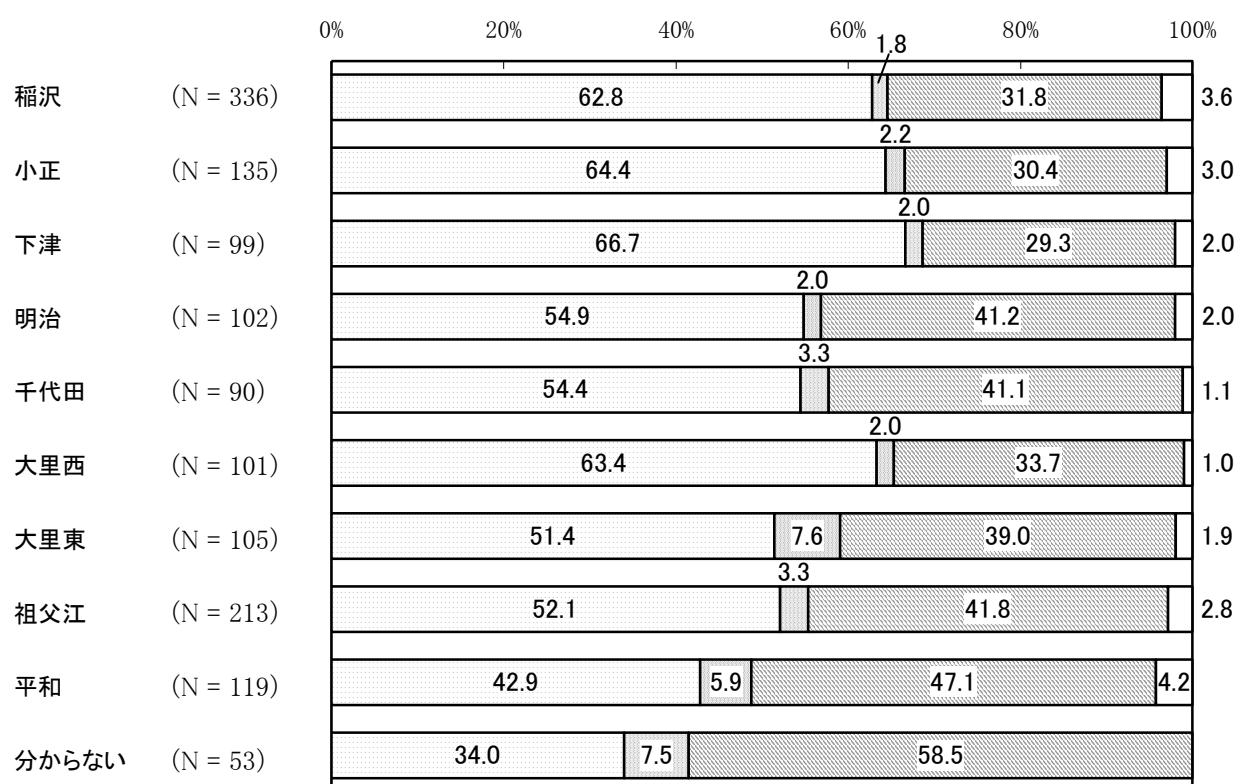
問2 これからも稻沢市に住みたいと思いますか。(○は1つだけ)



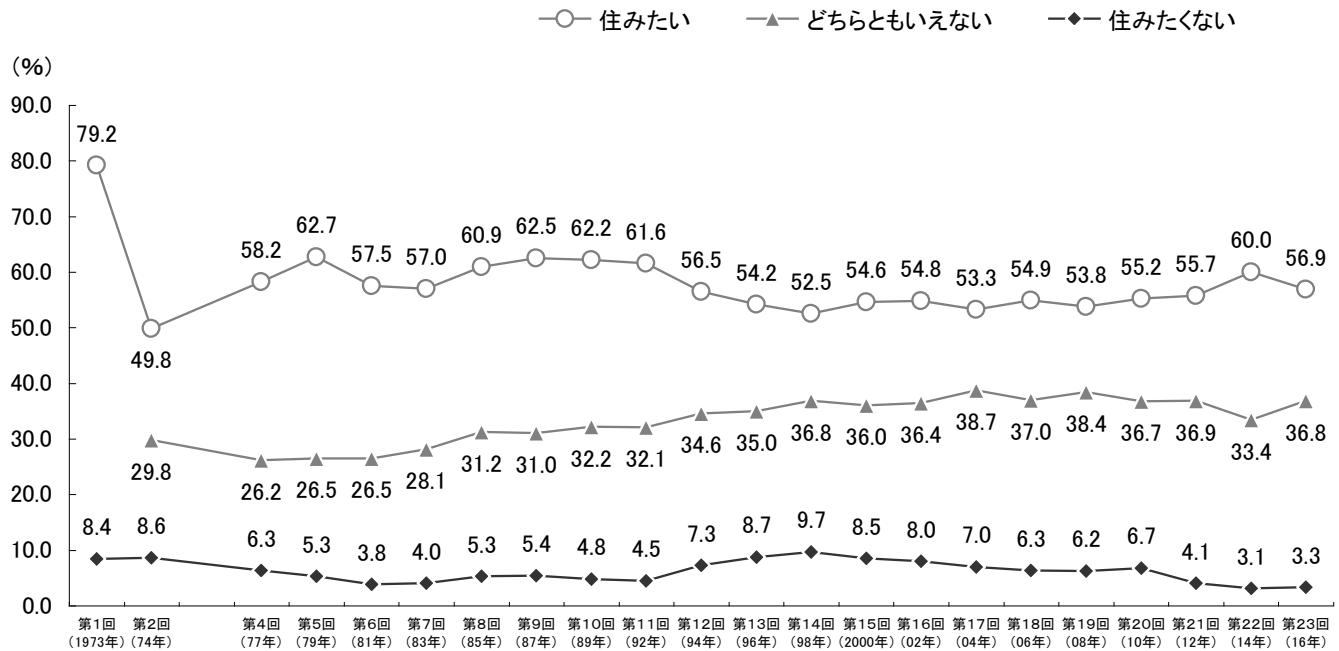
【年齢別】



【居住地区別】



【過去調査との比較】



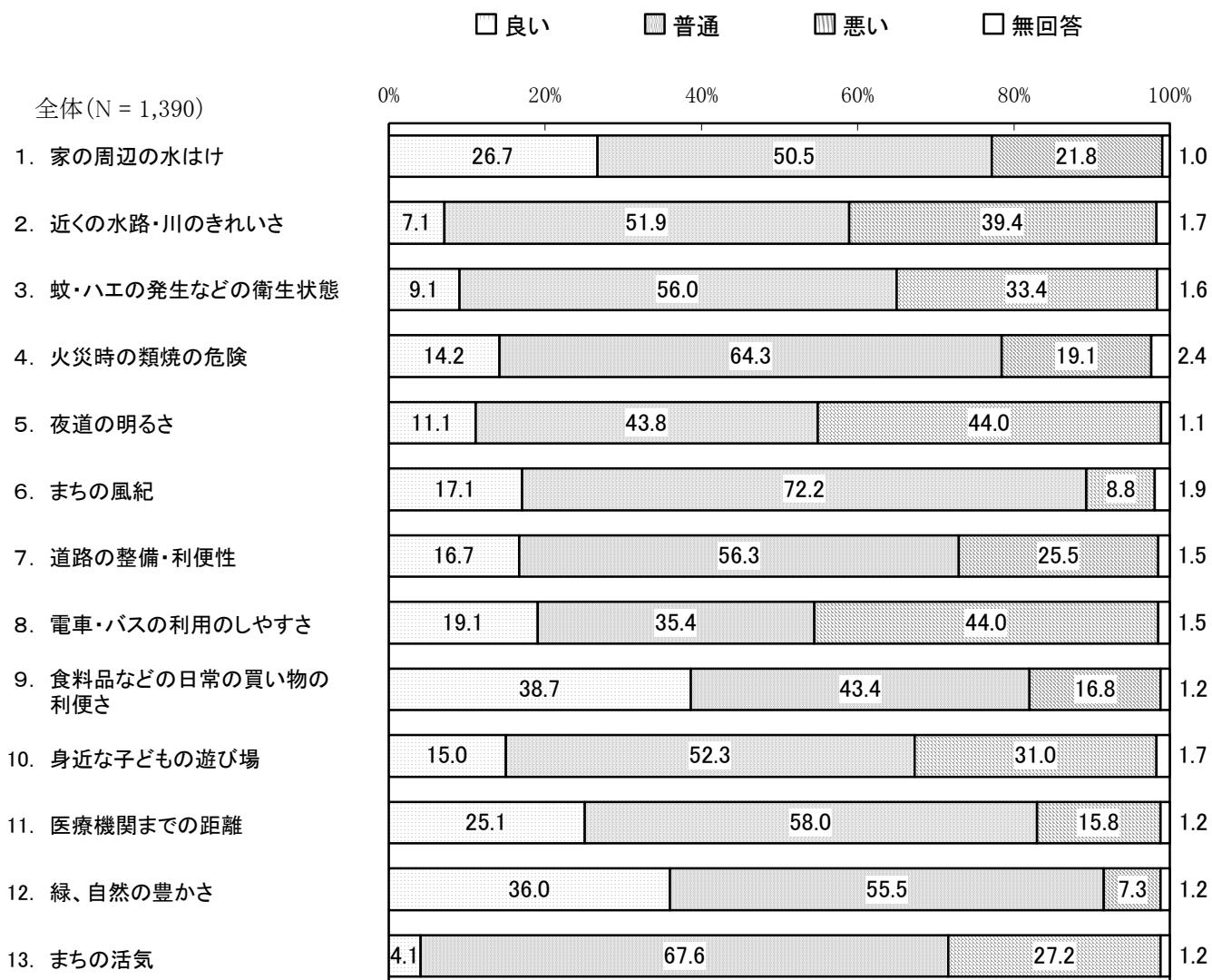
●これからも稻沢市に「住みたい」と思うかたは減少

これからも稻沢市に住みたいと思うかたは、全体で「住みたい」が 56.9%、「住みたくない」が 3.3%、「どちらともいえない」が 36.8%となっています。前回調査と比べると、「住みたい」は 3.1 ポイント低く、「住みたくない」は 3.4 ポイント高くなっています。

年齢別でみると、18・19歳、20歳～29歳を除き、「住みたい」と思っているかたは 5割を超えて高くなっています。なお、18・19歳では「住みたくない」が 10.0%と他の年代と比べて高くなっています。

居住地区別にみると、平和地区以外の居住区で「住みたい」と思うかたが 5割を超え、特に稻沢・小正・下津・大里西地区が高い割合となっているものの、大里東・平和地区で「住みたくない」が 5%以上と他の居住地区よりも高くなっています。

**問3 日頃、自宅周辺の生活環境をどのように感じていますか。
(それぞれについて○は1つだけ)**



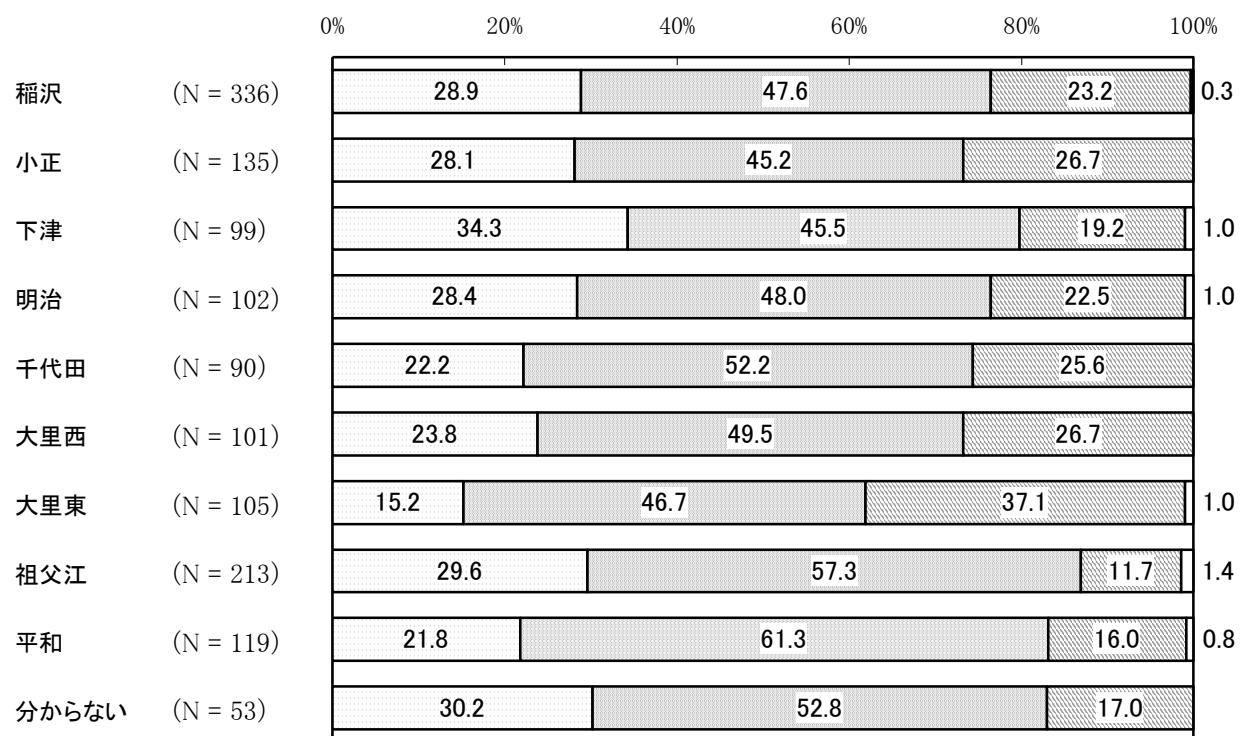
●生活環境で良いと感じていることは、「買い物の利便さ」と「自然の豊かさ」

自宅周辺の生活環境で「良い」と感じていることは、「9. 食料品などの日常の買い物の利便さ」「12. 緑、自然の豊かさ」で3割を超えて高いものの、「5. 夜道の明るさ」「8. 電車・バスの利用のしやすさ」は4割を超える市民が「悪い」と感じています。

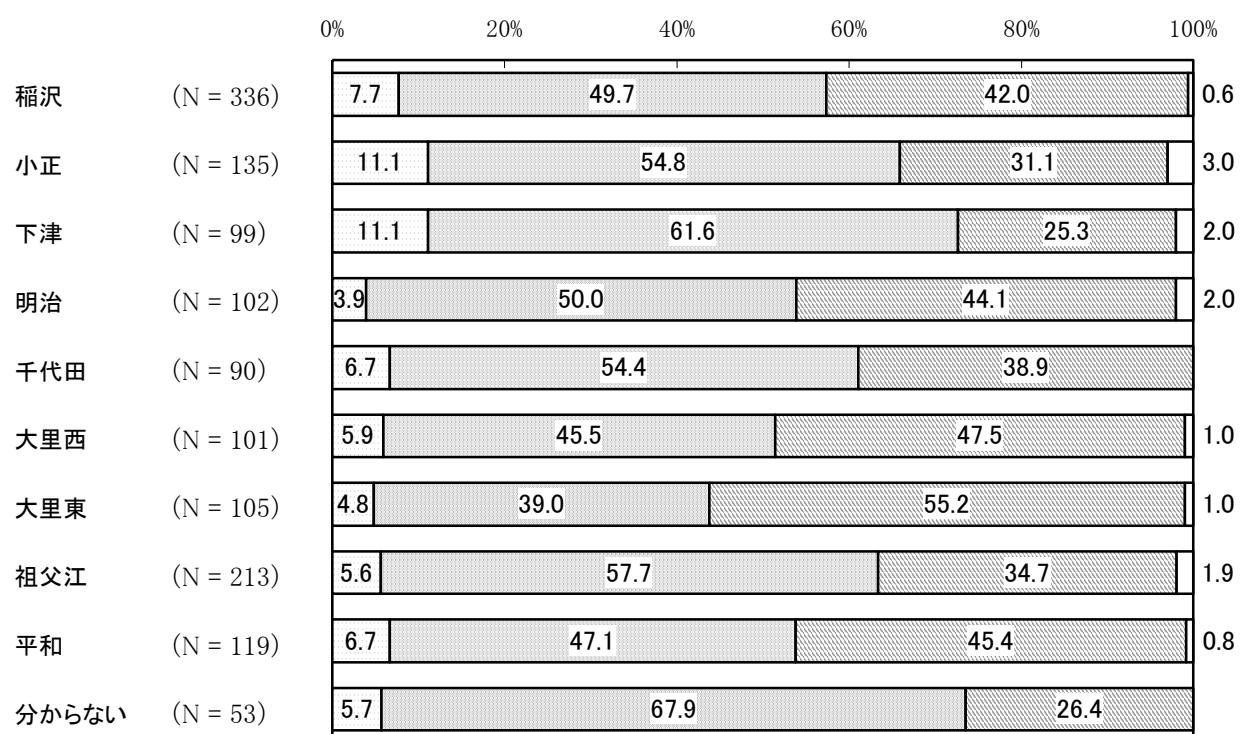
【居住地区別】

□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

1. 家の周辺の水はけ

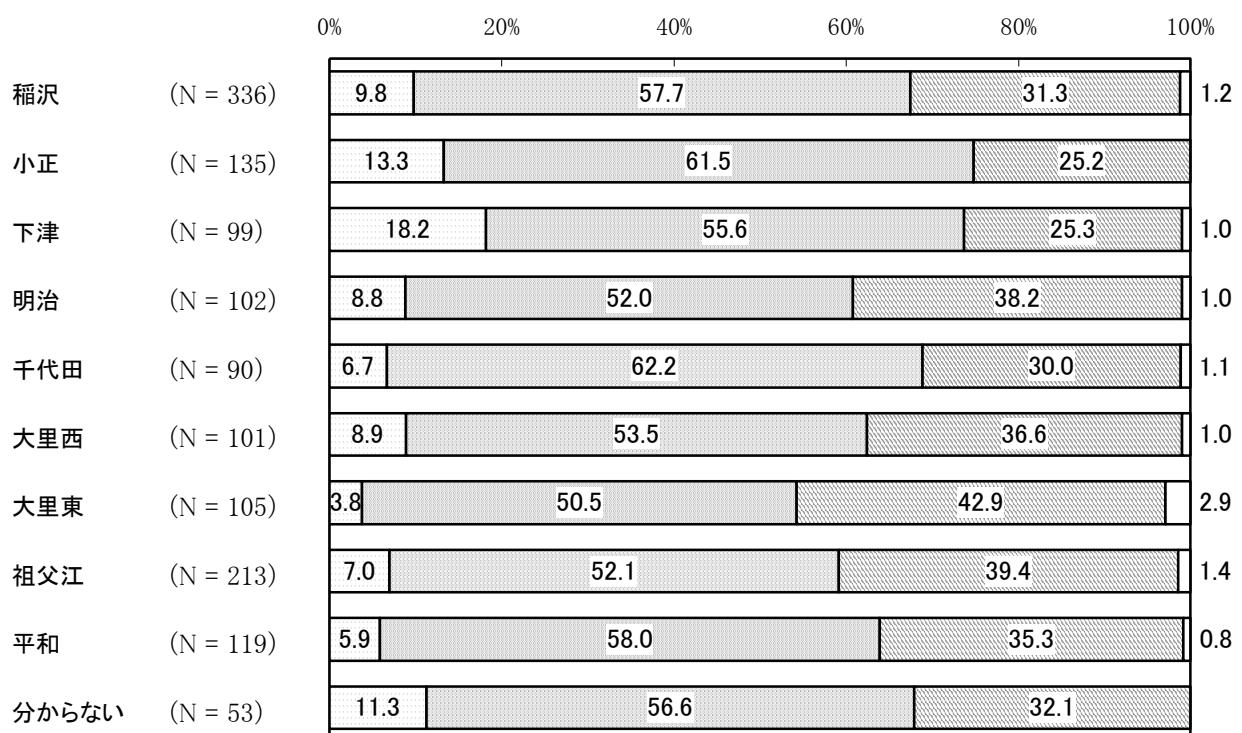


2. 近くの水路・川のきれいさ

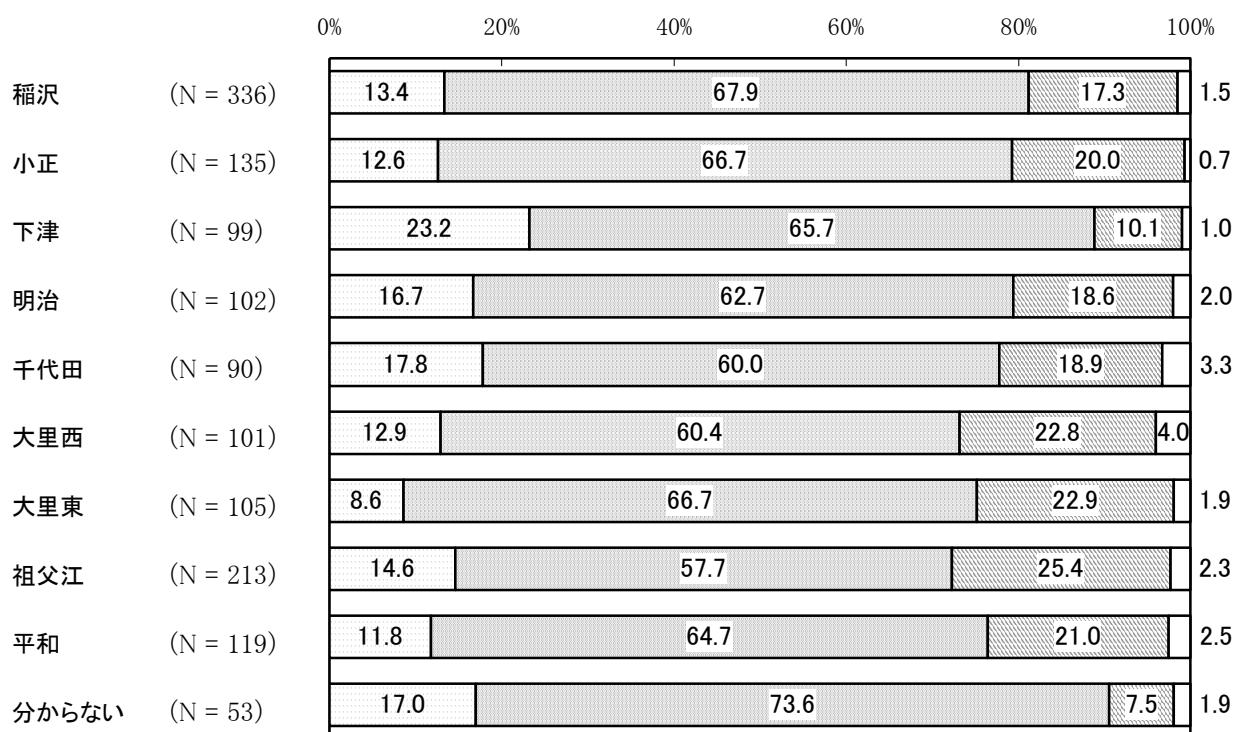


□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

3. 蚊・ハエの発生などの衛生状態

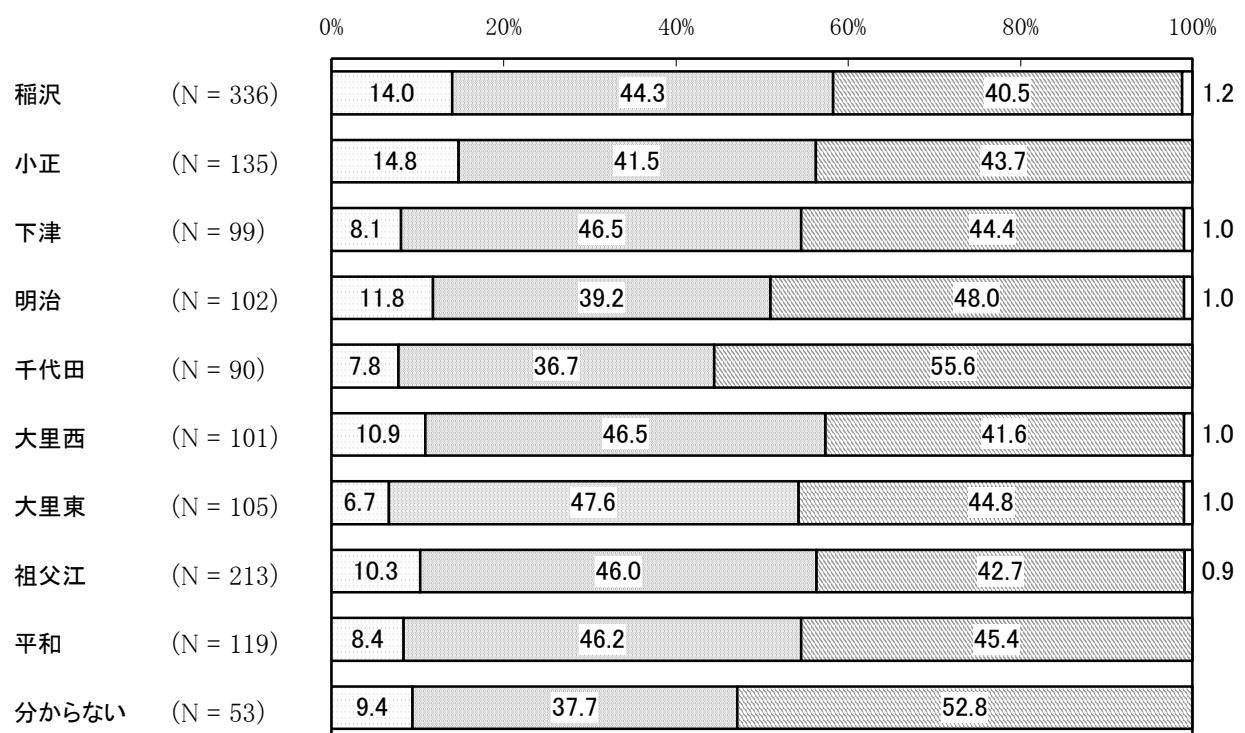


4. 火災時の類焼の危険

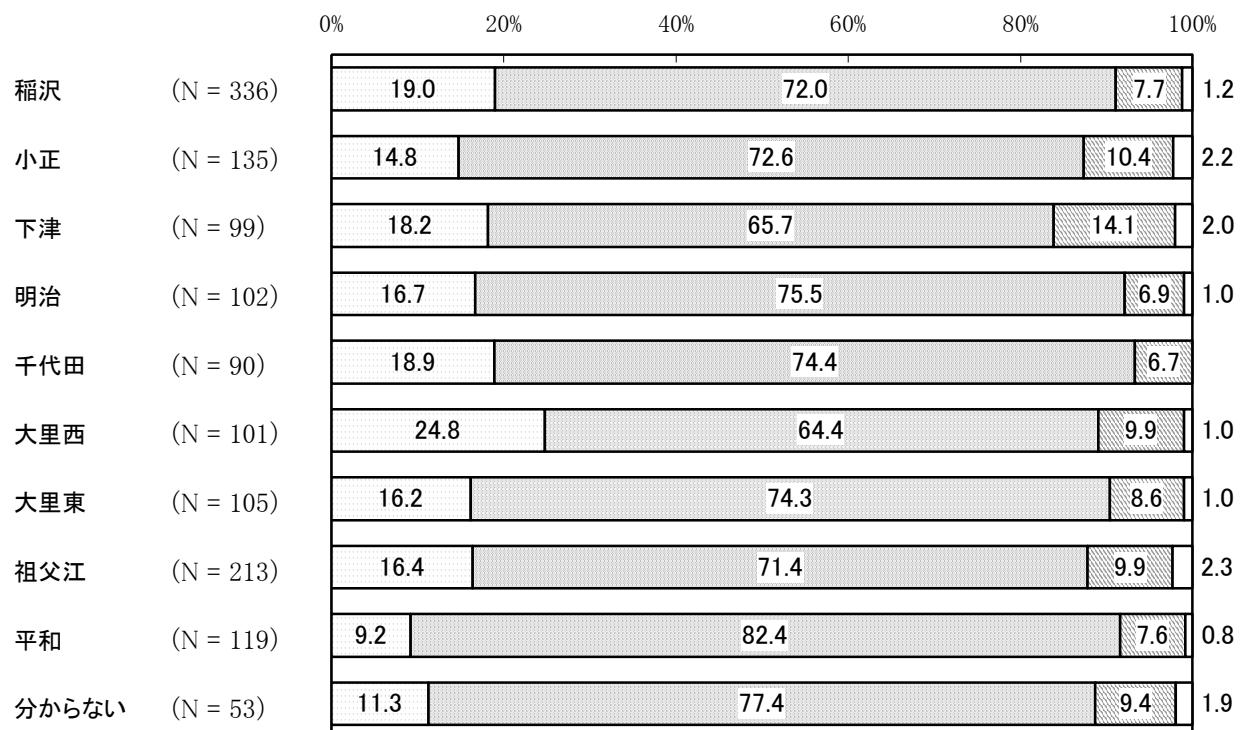


□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

5. 夜道の明るさ

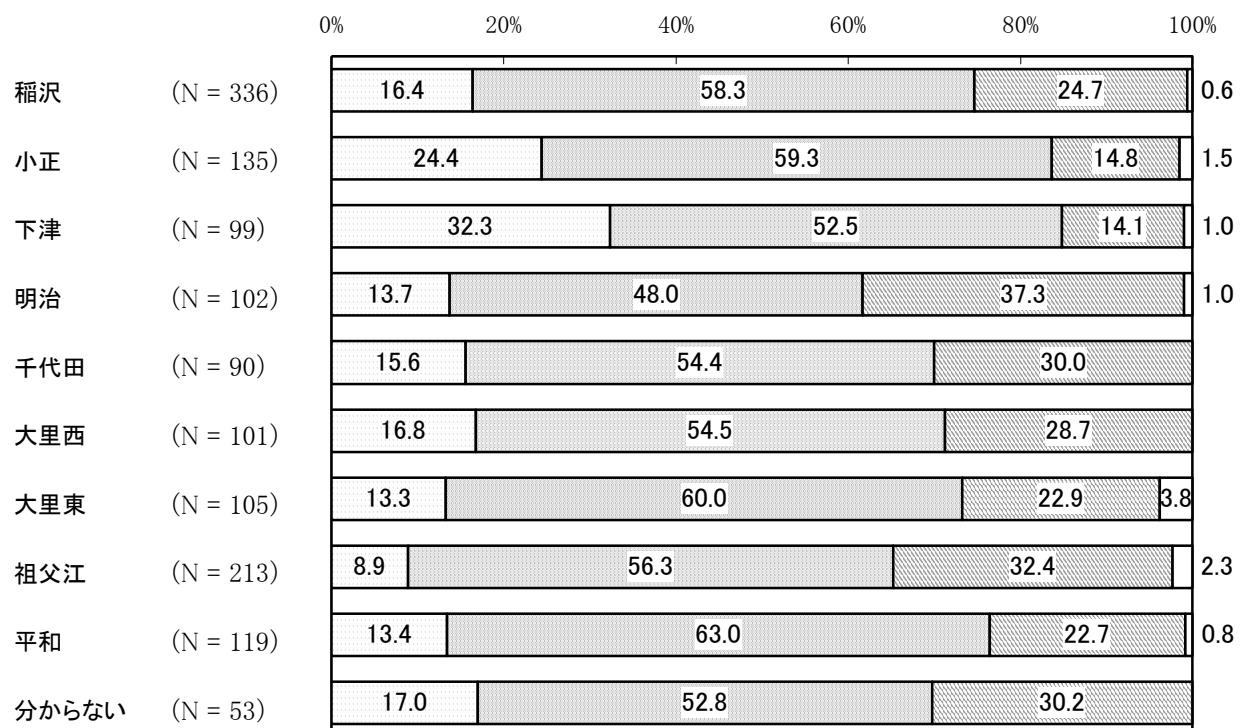


6. まちの風紀

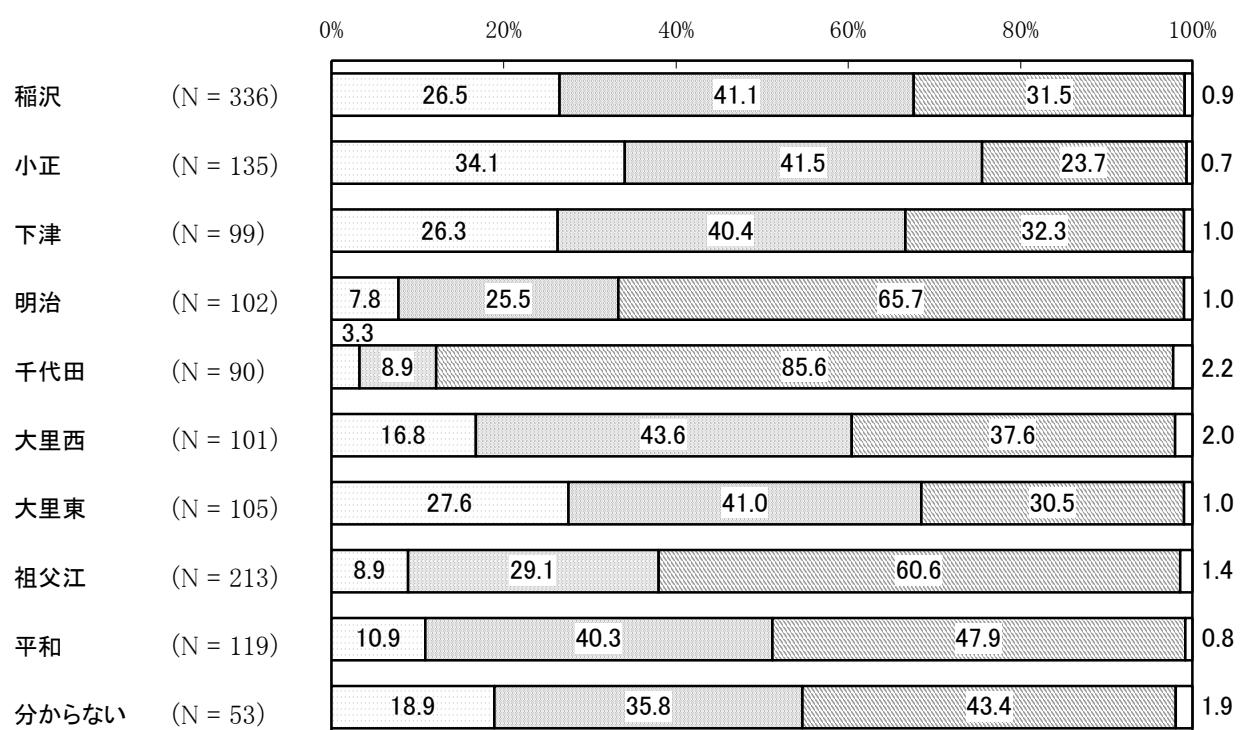


□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

7. 道路の整備・利便性

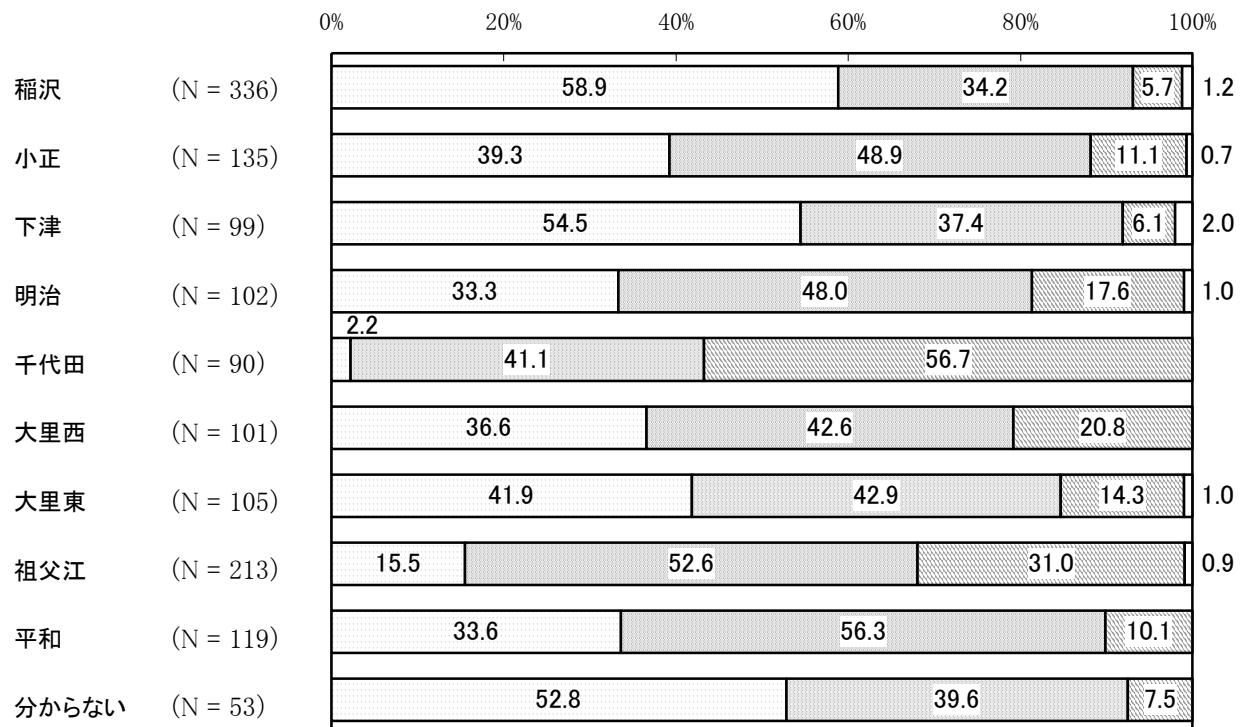


8. 電車・バスの利用のしやすさ

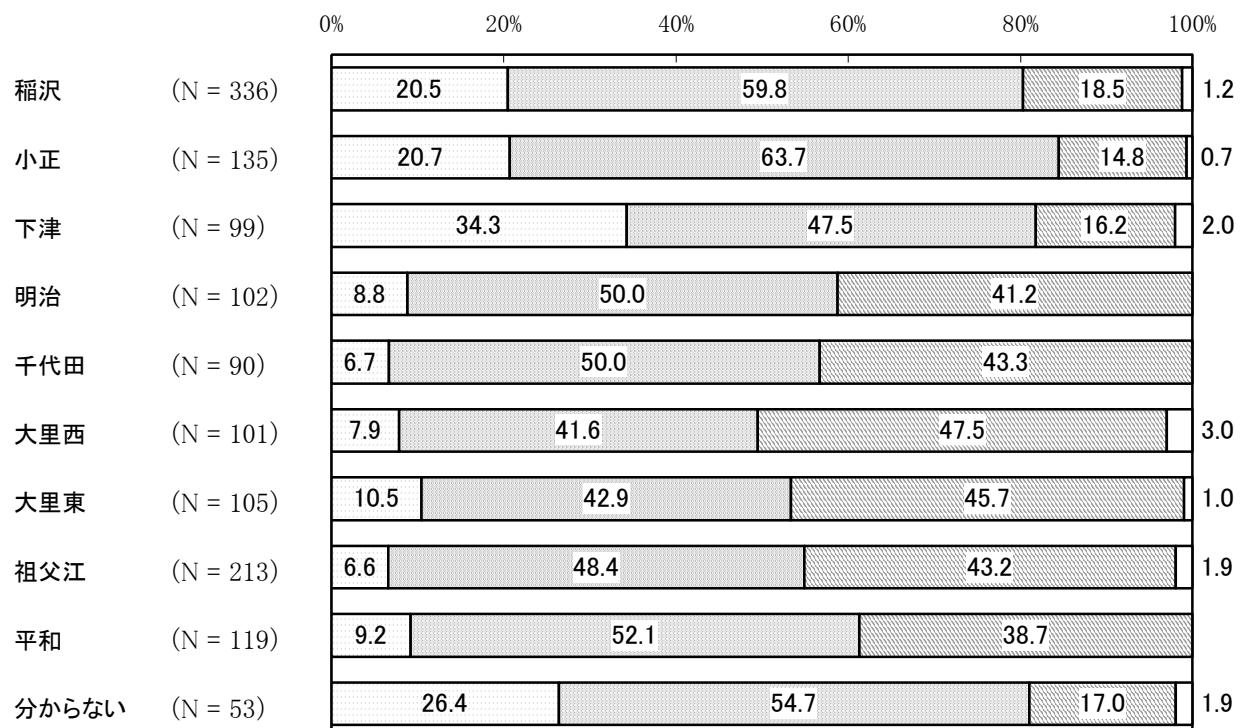


□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

9. 食料品などの日常の買い物の利便さ

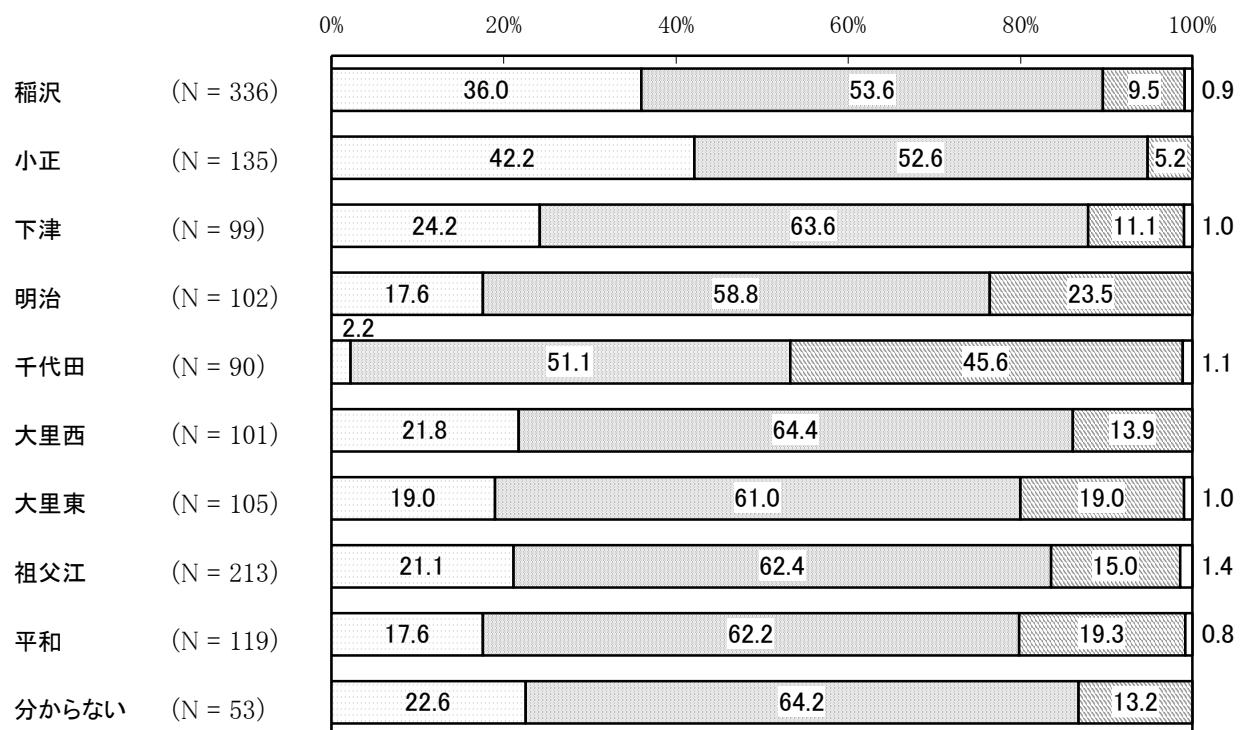


10. 身近な子どもの遊び場

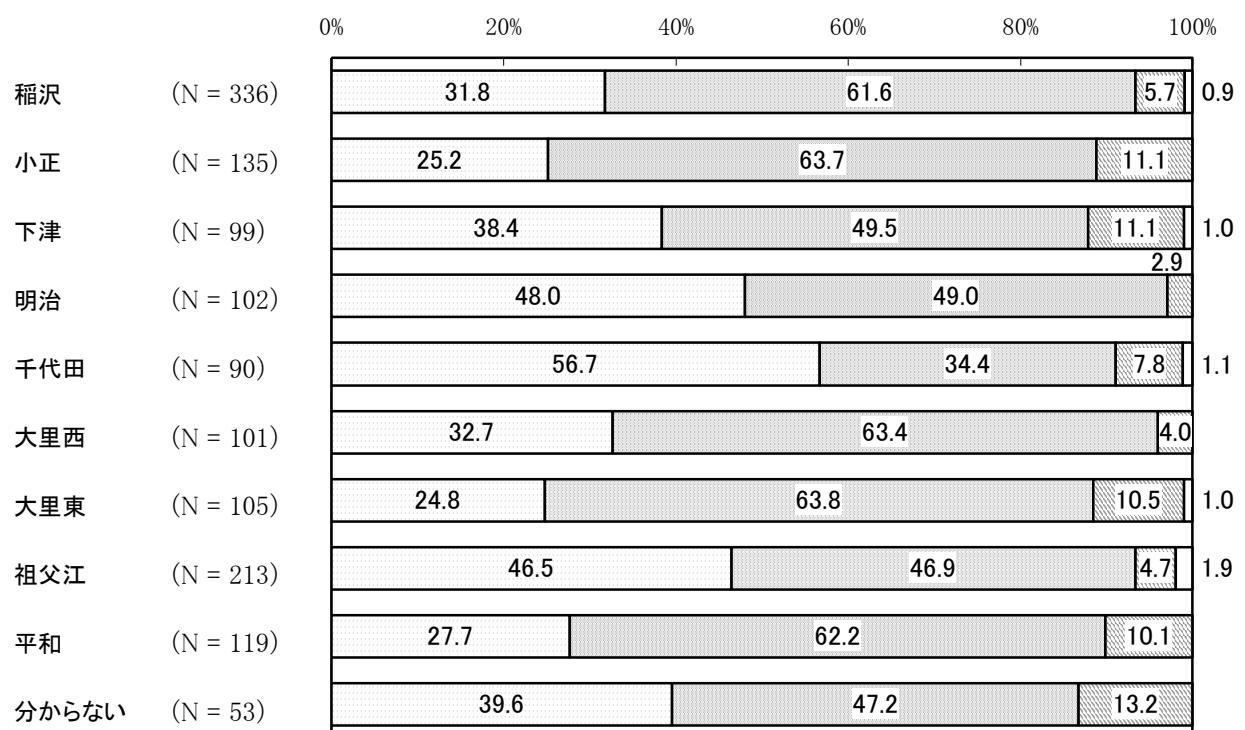


□ 良い ■ 普通 ▨ 悪い □ 無回答

11. 医療機関までの距離

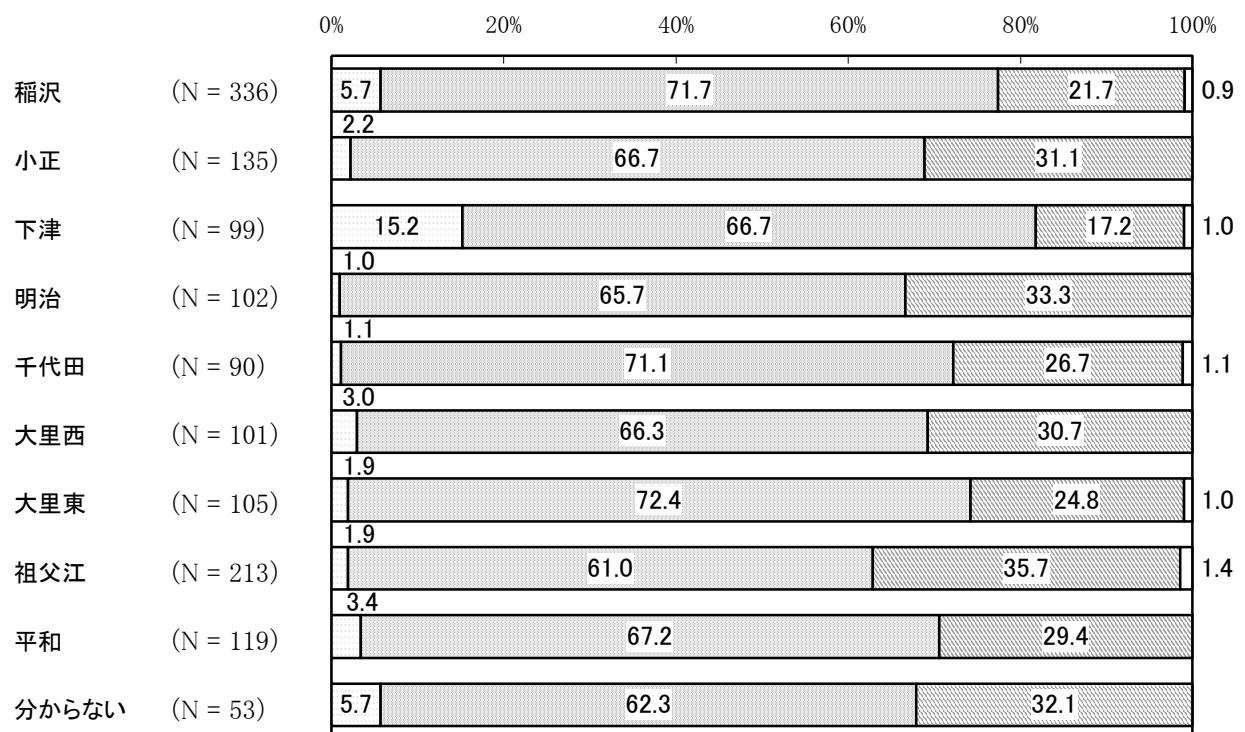


12. 緑、自然の豊かさ



□ 良い □ 普通 □ 悪い □ 無回答

13. まちの活気



●居住地区によってばらつきがある

「7. 道路の整備・利便性」について、下津地区の「良い」が 32.3%に対して、明治地区の「悪い」が 37.3%となっています。「9. 食料品などの日常の買い物の利便さ」について、稲沢・下津地区の「良い」が 5割を超えており、千代田地区では「悪い」が 5割を越えています。

「13. まちの活気」については、他の地区に比べ下津地区で「良い」の割合が高くなっています。

問4 あなたは、次の各項目についてどう思いますか。(それぞれについて○は1つだけ)

単位：%

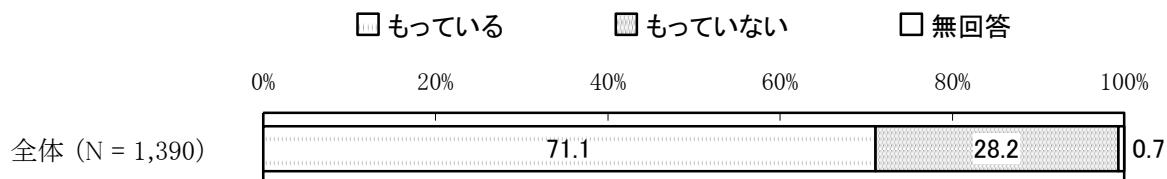
区分	有効回答数 (件)	そう思う	やや思う	あまり思わない	全く思わない	分からぬ	無回答
1. 心身ともに健康であると思いますか	1,390	23.3	43.8	26.3	3.3	2.1	1.2
2. 稲沢市は子育てしやすいまちだと思いますか	1,390	10.6	40.3	23.7	3.5	20.3	1.6
3. 稲沢市は障害者が安心して暮らせるまちだと思いますか	1,390	4.2	21.7	34.2	6.8	31.6	1.4
4. 稲沢市は高齢者が地域で活躍できる機会や場が整っているまちだと思いますか	1,390	4.7	22.2	36.3	10.1	25.8	0.8
5. 稲沢市はみんなで支えあっているまちだと思いますか	1,390	3.1	26.3	35.5	8.9	25.2	1.0
6. 稲沢市は公害や散乱ごみなどがなく、環境にやさしいまちだと思いますか	1,390	9.8	46.3	29.0	7.1	6.9	0.9
7. 稲沢市はごみ減量やリサイクルが進んでいるまちだと思いますか	1,390	12.6	42.7	26.3	4.0	13.5	0.9
8. 稲沢市の水道水は安全でおいしいと思いますか	1,390	22.2	43.7	18.7	4.3	10.1	1.0
9. 稲沢市では汚水が適切に処理されていると思いますか	1,390	12.2	32.4	22.9	5.5	25.7	1.3
10. 稲沢市の災害対策・防災体制は良いと思いますか	1,390	5.0	26.4	28.6	5.0	33.5	1.5
11. 稲沢市の消防・救急体制は良いと思いますか	1,390	12.4	40.9	17.6	2.1	26.0	1.0
12. 稲沢市は治安や交通安全対策が良いと思いますか	1,390	7.6	38.7	32.9	5.3	14.7	0.9
13. 稲沢市は安全で快適な市街地が形成されているだと思いますか	1,390	6.8	35.5	34.0	6.0	16.0	1.7
14. 市内の道路を利用して、目的地まで安全で快適に移動できるだと思いますか	1,390	11.1	45.0	31.7	6.2	4.1	1.9
15. 大雨でも自宅が浸水する心配はないと思いますか	1,390	24.6	30.0	23.1	14.0	7.1	1.3
16. 稲沢市は大都市に近い利便性を生かした、優れた農業産地であるだと思いますか	1,390	11.3	38.6	28.2	6.8	13.4	1.7
17. 稲沢市は日常的な買い物が便利だと思いますか	1,390	23.4	43.9	24.7	5.6	1.4	1.0
18. 稲沢市の小・中学校は地域との交流や連絡が密であり、地域に開かれているだと思いますか	1,390	7.9	29.3	26.0	4.8	30.4	1.5
19. 稲沢市の青少年は豊かな人間性・社会性が身についていると思いますか	1,390	3.0	26.8	29.5	6.0	33.2	1.5
20. 稲沢市は生涯学習(自発的な学習活動)を行う場所や講座が整備されているだと思いますか	1,390	3.8	22.9	31.2	8.3	32.2	1.7
21. 稲沢市は芸術の鑑賞や文化の活動機会に恵まれたまちだと思いますか	1,390	4.7	25.7	34.1	11.5	22.5	1.5
22. 外国人との相互理解を深めたいと思いますか	1,390	9.1	28.8	32.4	10.9	17.4	1.4

「1. 心身ともに健康であると思いますか」「8. 稲沢市の水道水は安全でおいしいと思いますか」「17. 稲沢市は日常的な買い物が便利だと思いますか」において、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『そう思う』が60%を超えて高くなっています。

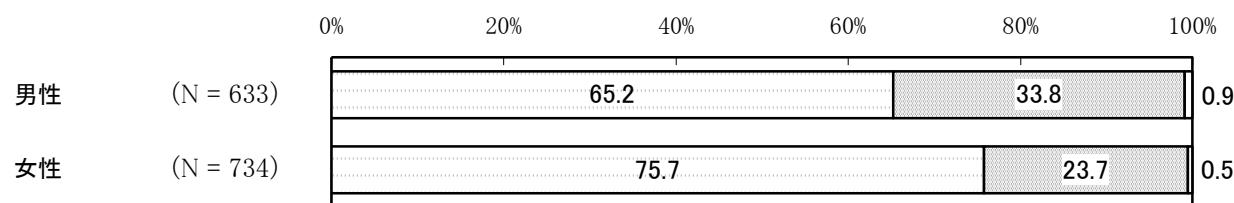
なお、「4. 稲沢市は高齢者が地域で活躍できる機会や場が整っているまちだと思いますか」「21. 稲沢市は芸術の鑑賞や文化活動機会に恵まれたまちだと思いますか」では「あまり思わない」と「全く思わない」を合わせた『思わない』が45%以上と高い割合となっています。

**問5 あなたは、次の各項目についてどれにあてはまりますか。
(それぞれについて○は1つだけ)**

1. あなたはかかりつけ医をもっていますか



【性別】

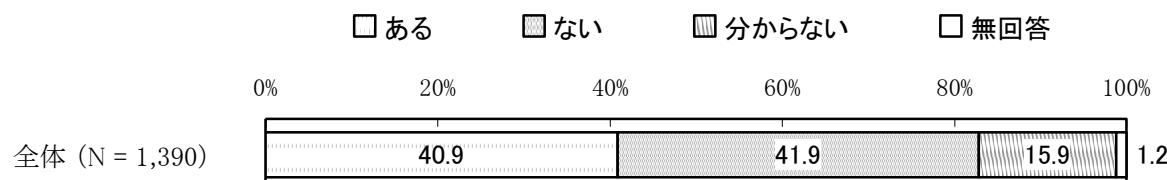


●かかりつけ医をもっているが7割

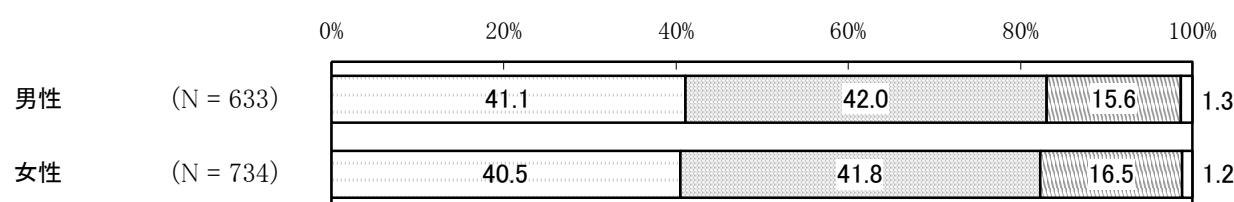
かかりつけ医をもっているかは、全体で「もっている」が 71.1%、「もっていない」が 28.2%となっています。

性別でみると、女性で「もっている」が 75.7%と、男性と比べて 10.5 ポイント高くなっています。

2. 稲沢市の公園・緑地に、親しめる場所がありますか



【性別】

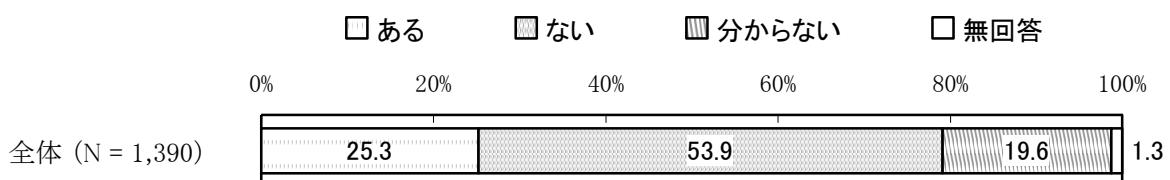


●公園・緑地に親しめる場所が「ある」「ない」とともに4割

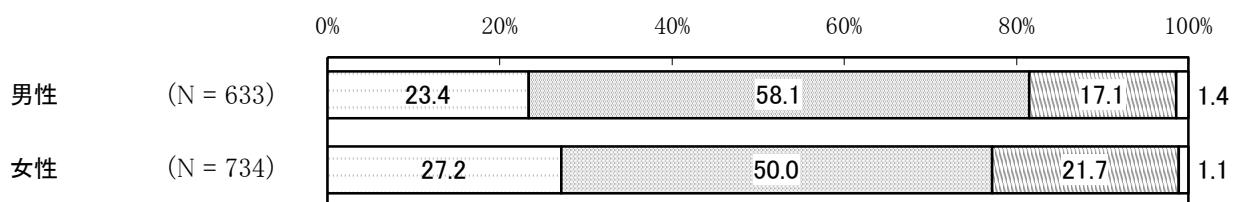
稲沢市の公園・緑地に親しめる場所があるかは、全体で「ない」が「ある」をわずかに上回っています。

性別で、大きな差異はみられません。

3. 稲沢市には市外の人を案内したい場所やイベントがありますか



【性別】

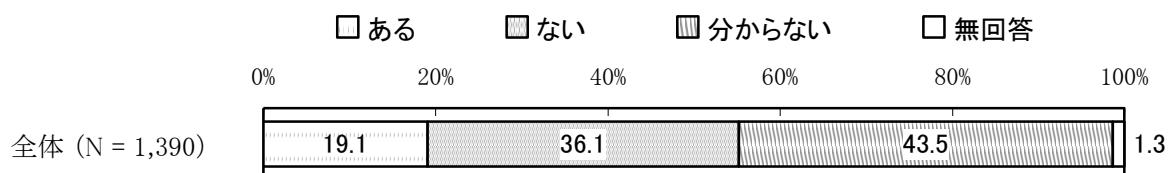


●案内したい場所やイベントが「ない」が半数以上

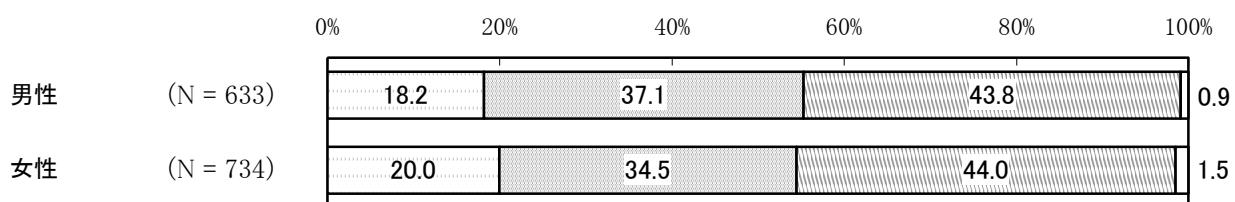
稻沢市には市外の人を案内したい場所やイベントがあるかは、全体で「ない」が 53.9% と高くなっています。

性別でみると、男性で「ない」が 58.1% と、女性と比べて 8.1 ポイント高くなっています。

4. 稲沢市には働きたいと思う企業や職場がありますか



【性別】

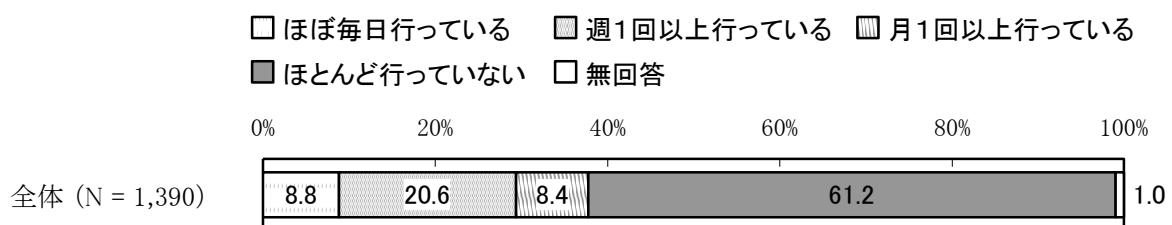


● 「働きたいと思う企業や場所があるか」には「分からぬ」が約4割

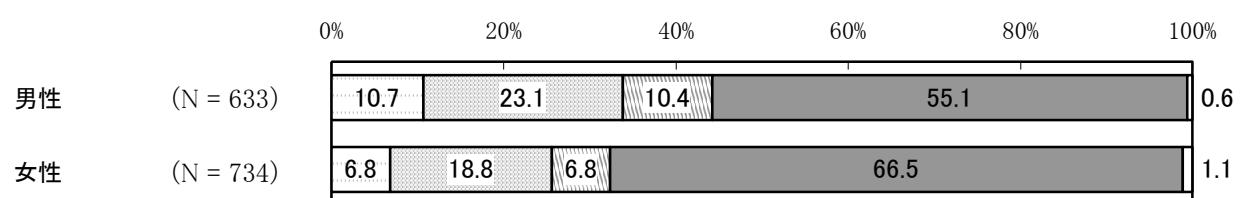
稻沢市には働きたいと思う企業や職場があるかは、全体で「分からぬ」が 43.5% と高く、次いで「ない」が 36.1%、「ある」が 19.1% となっています。

性別で、大きな差異はみられません。

5. あなたは運動やスポーツ活動を行っていますか



【性別】

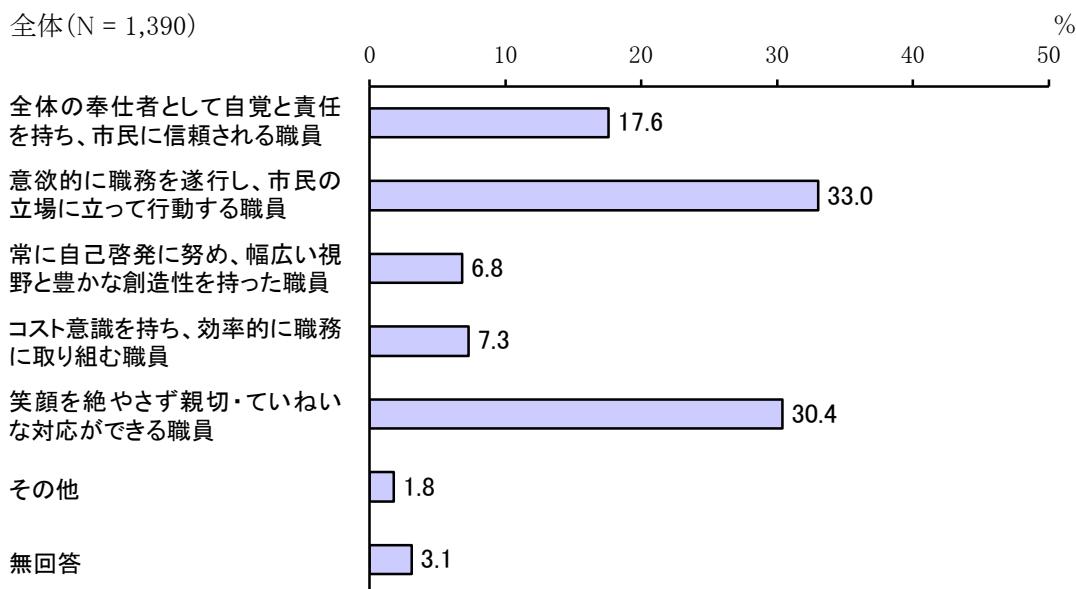


●運動やスポーツ活動を「ほとんど行っていない」が約6割

運動やスポーツ活動を行っているかは、全体で「ほとんど行っていない」が 61.2%と最も高く、次いで「週 1 回以上行っている」が 20.6%、「ほぼ毎日行っている」が 8.8%となっています。

性別でみると、女性で「ほとんど行っていない」が 66.5%と、男性と比べて 11.4 ポイント高くなっています。

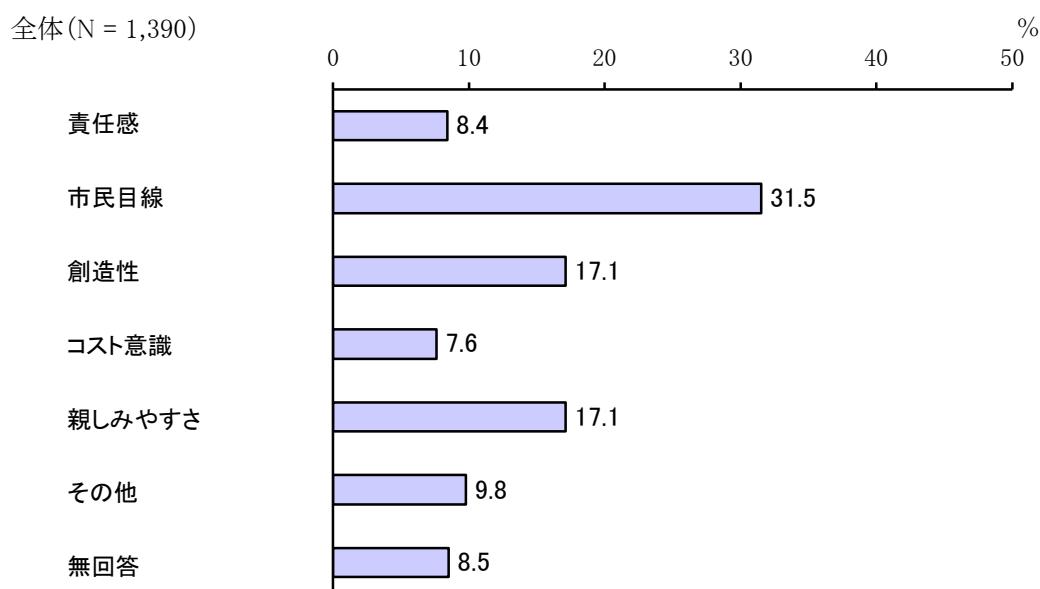
**問6 あなたが求める稻沢市職員の最も重要な姿を次の項目から選んでください。
(○は1つだけ)**



● 「市民の立場に立って行動する」「親切・ていねいな対応ができる」職員を期待

「意欲的に職務を遂行し、市民の立場に立って行動する職員」の割合が 33.0% と最も高く、次いで「笑顔を絶やさず親切・ていねいな対応ができる職員」の割合が 30.4%、「全体の奉仕者として自覚と責任を持ち、市民に信頼される職員」の割合が 17.6% となっています。

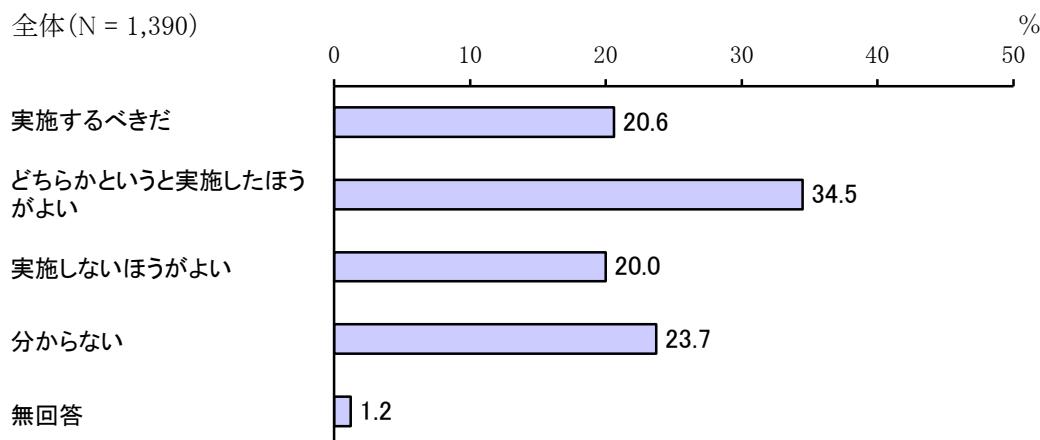
**問7 あなたが現在の稻沢市職員に備わっていないと思うものを選んでください。
(○は1つだけ)**



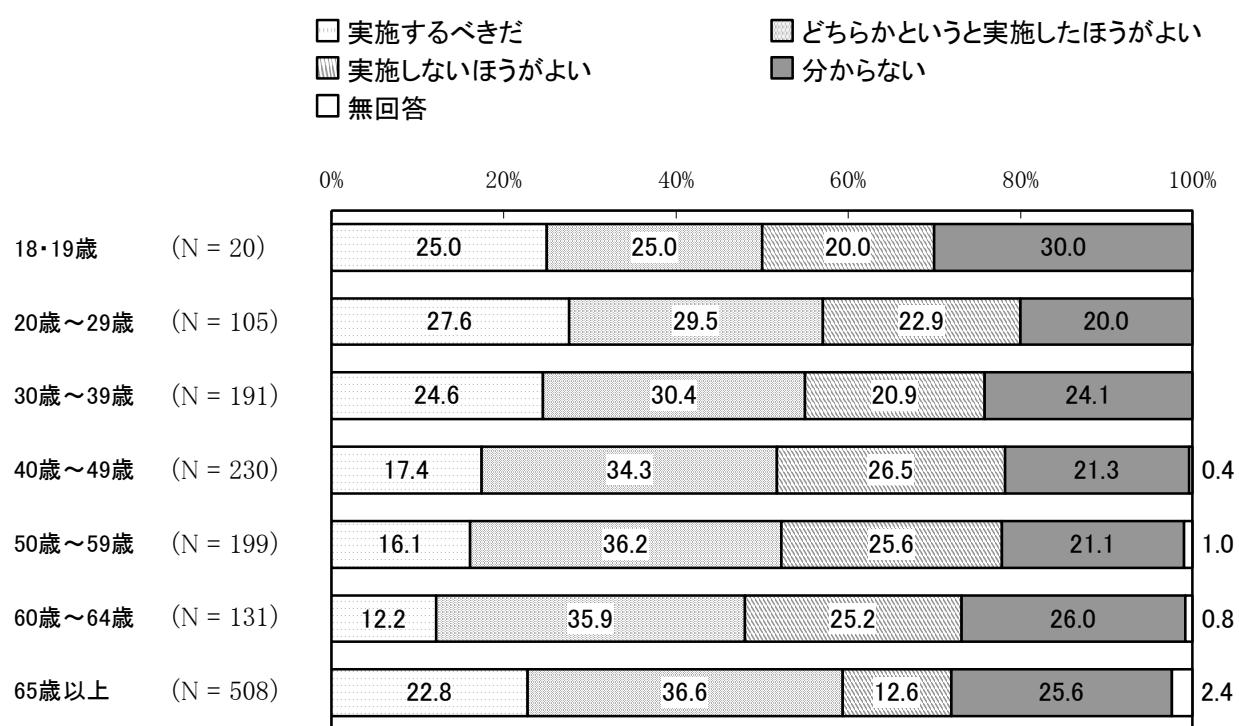
● 職員に備わっていないものは「市民目線」がトップ

「市民目線」の割合が 31.5% と最も高く、次いで「創造性」、「親しみやすさ」の割合が 17.1% となっています。

問8 稲沢市は平成30年に市制60周年を迎えます。これを記念して市の魅力を広く発信する記念事業を実施するべきだと思いますか。(○は1つだけ)



【年齢別】



● 「実施するべき」と「実施したほうがよい」で半数以上

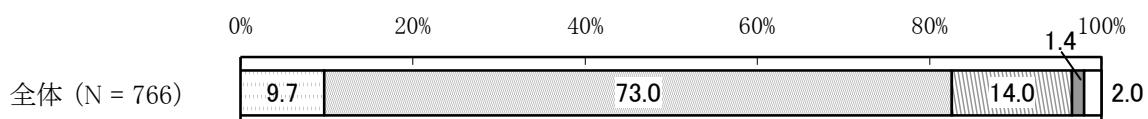
「どちらかというと実施したほうがよい」の割合が34.5%と最も高く、次いで「分からない」の割合が23.7%、「実施するべきだ」の割合が20.6%となっています。

どの年代も、約半数が「実施するべきだ」「どちらかというと実施したほうがよい」という結果になっています。

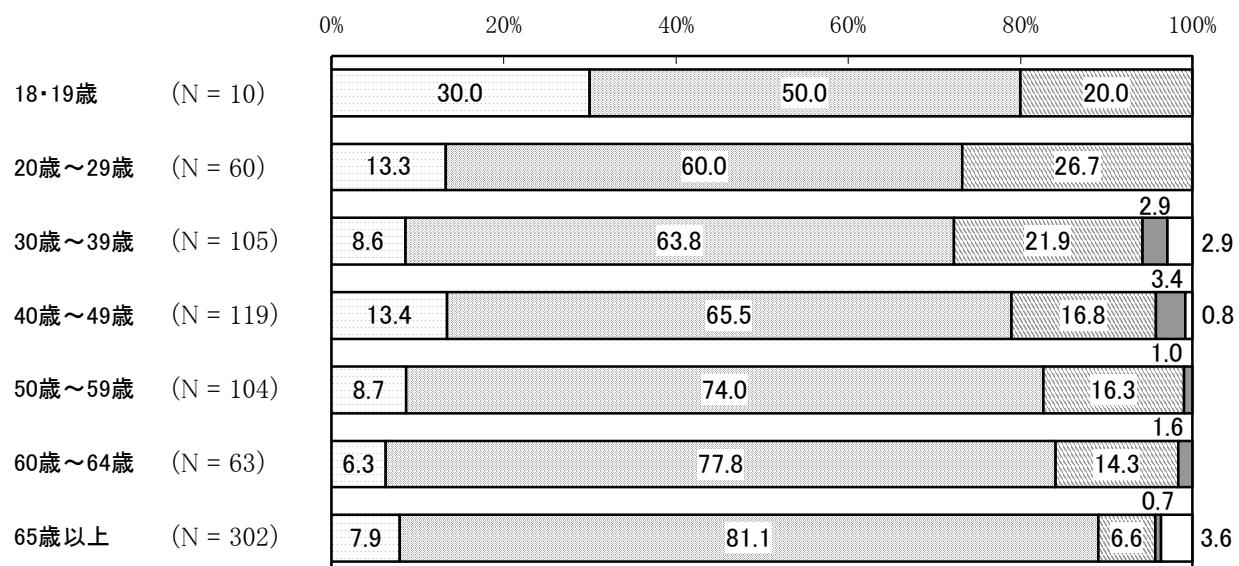
問8で「1. 実施するべきだ」「2. どちらかというと実施したほうがよい」と答えたかたにお聞きます。

問8－1 記念事業では、市の魅力を発信する事業を展開することで、市民をはじめ多くのかたに参加していただきたいと考えていますが、どのように実施していくべきだと思いますか。(○は1つだけ)

- 行政が企画し、実施するべきである
- 市民と行政が協働で企画し、実施するべきである
- 専門の業者に企画してもらい、実施するべきである
- その他
- 無回答



【年齢別】

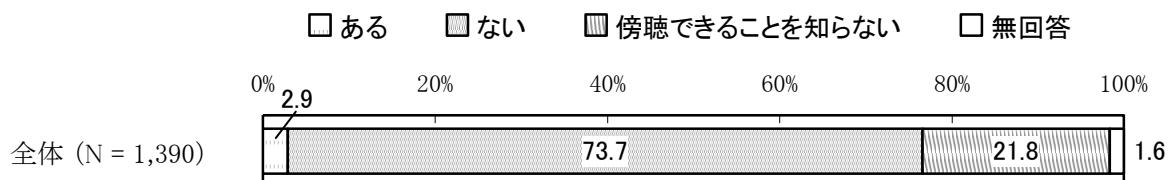


● 「市民と行政が協働で企画し、実施するべき」が大多数

「市民と行政が協働で企画し、実施するべきである」の割合が 73.0% と最も高く、次いで「専門の業者に企画してもらい、実施するべきである」の割合が 14.0% となっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19 歳で「行政が企画し、実施するべきである」の割合が高くなっています。また、20 歳～29 歳で「専門の業者に企画してもらい、実施するべきである」の割合が高くなっています。

問9 稲沢市議会は、年4回定例会を開催しています。本会議を傍聴したことはありますか。(○は1つだけ)

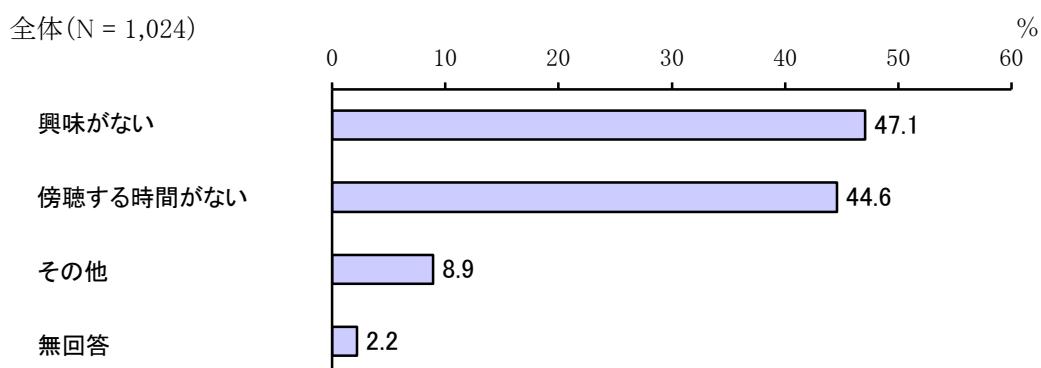


● 「傍聴をしたことがない」が7割以上

「ない」の割合が73.7%と最も高く、次いで「傍聴できることを知らない」の割合が21.8%となっています。

問9で「2. ない」と答えたかたにお聞きします。

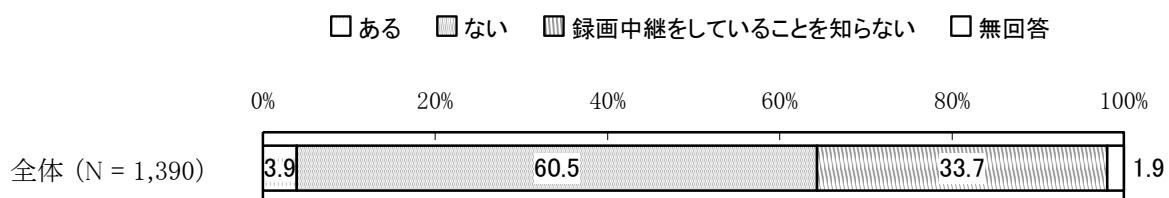
問9－1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



●傍聴に「興味がない」「時間がない」が多数

「興味がない」の割合が47.1%、「傍聴する時間がない」の割合が44.6%となっています。

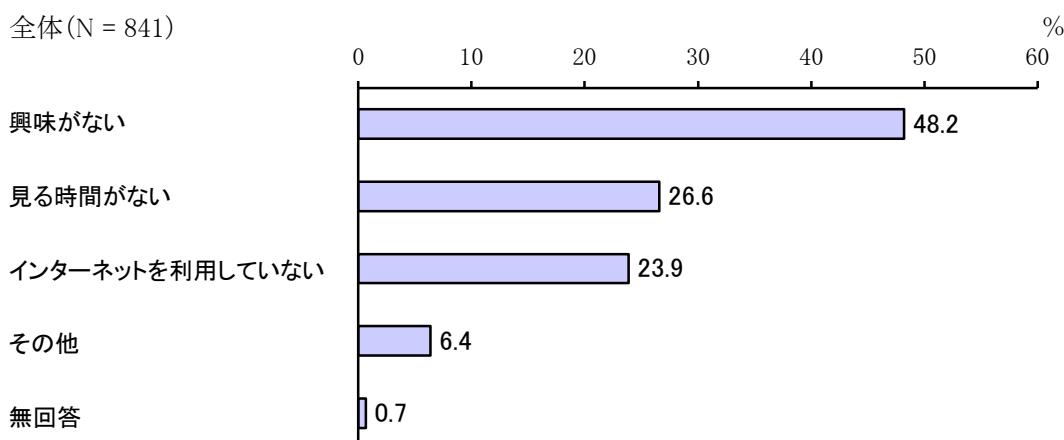
問10 稲沢市議会は、本会議の様子を市役所1階市民ホールでご覧いただけます。また、本会議を傍聴できないかたのために、稲沢市ホームページで本会議の録画映像を放映しています。「本会議録画映像」を見たことがありますか。(○は1つだけ)



● 「見たことがない」に約6割

「ない」の割合が 60.5%と最も高く、次いで「録画中継をしていることを知らない」の割合が 33.7%となっています。

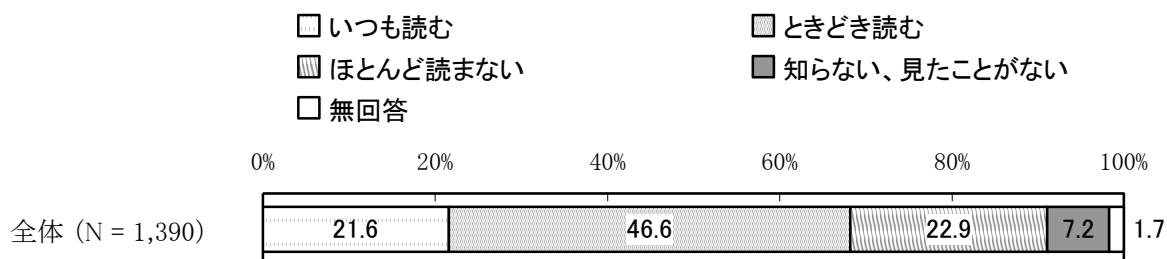
**問10で「2. ない」と答えたかたにお聞きします。
問10-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)**



● 「興味がない」が約半数

「興味がない」の割合が 48.2%と最も高く、次いで「見る時間がない」の割合が 26.6%、「インターネットを利用していない」の割合が 23.9%となっています。

問11 稲沢市議会では、議会の情報を発信する「市議会だより」を年4回発行し、「広報いなざわ」と併せて市民のかたに配布しています。「市議会だより」を読んだことはありますか。(○は1つだけ)

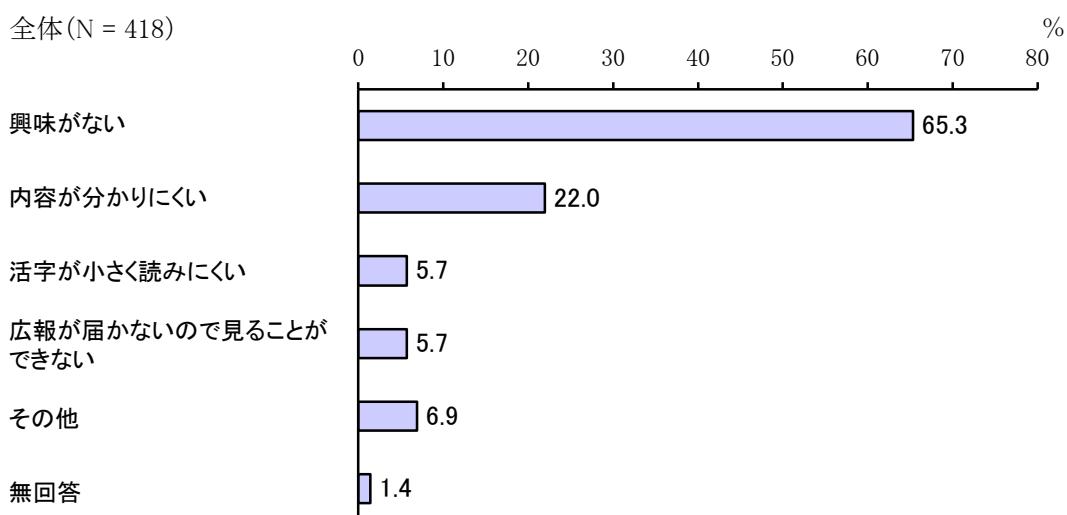


● 「いつも読む」と「ときどき読む」で6割以上

「ときどき読む」の割合が 46.6%と最も高く、次いで「ほとんど読まない」の割合が 22.9%、「いつも読む」の割合が 21.6%となっています。

問11で「3. ほとんど読まない」「4. 知らない、見たことがない」と答えたかたにお聞きします。

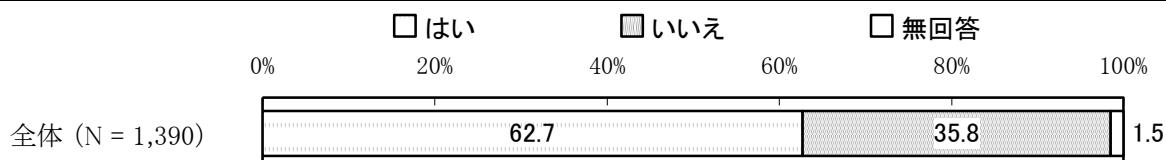
問11-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



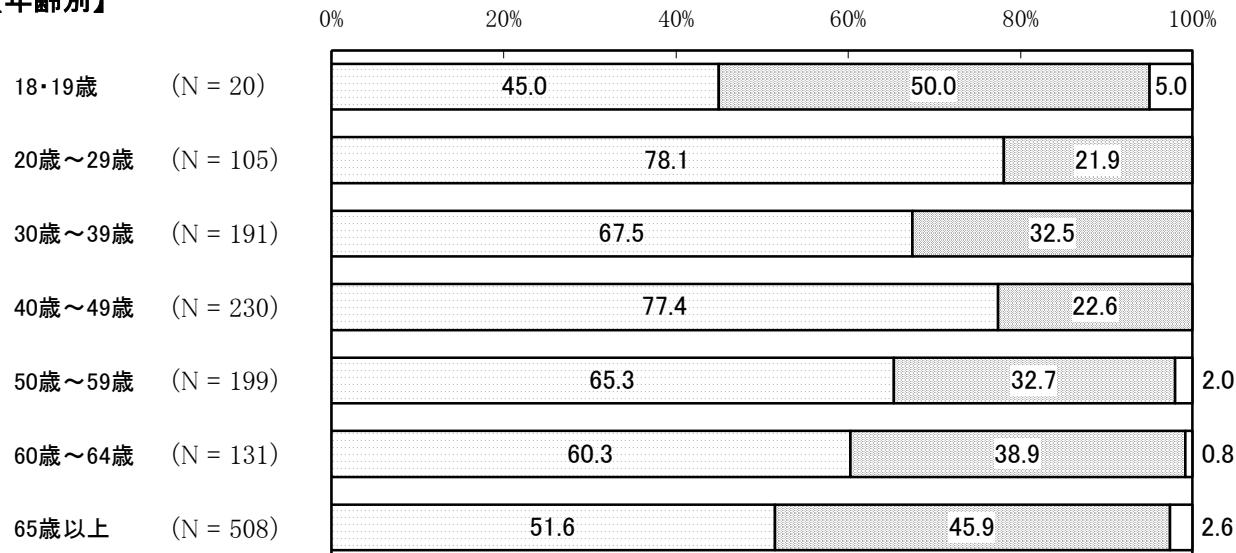
● 「興味がない」が約6割

「興味がない」の割合が 65.3%と最も高く、次いで「内容が分かりにくい」の割合が 22.0%となっています。

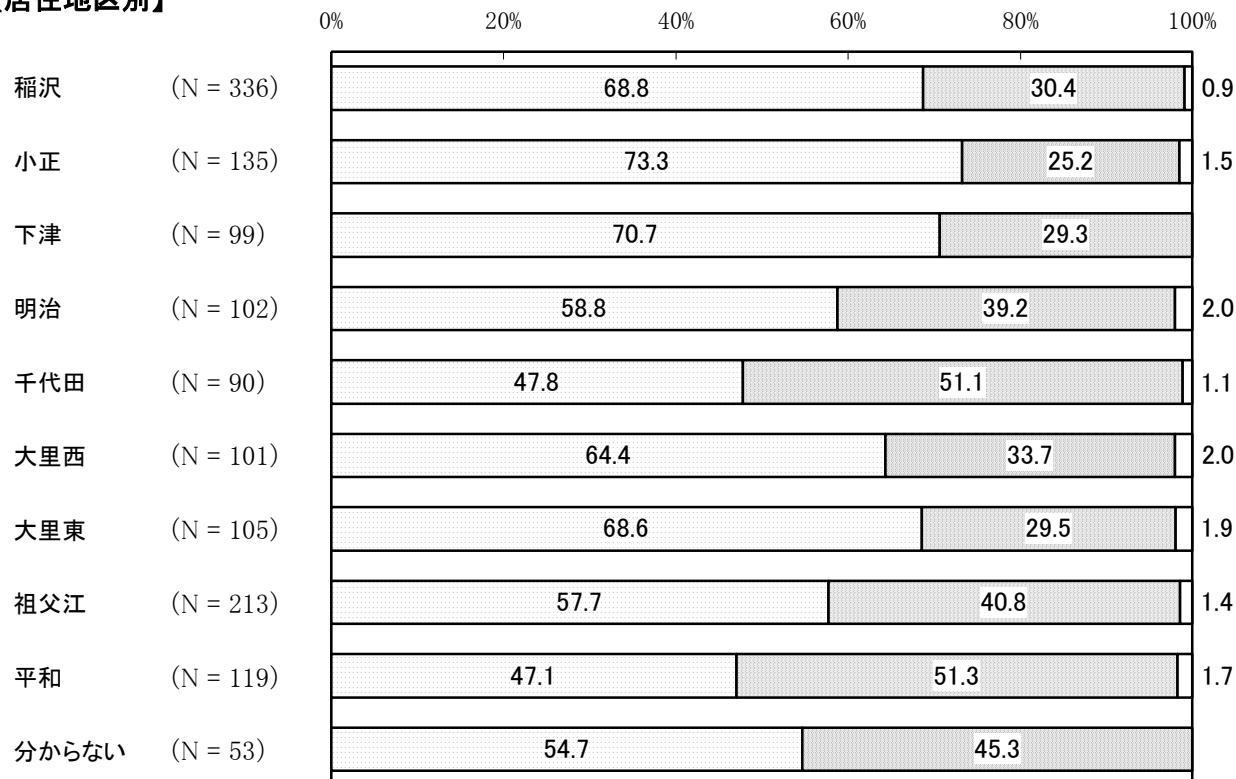
問12 あなたは、今まで稻沢市図書館を利用したことがありますか。(どちらかに○)



【年齢別】



【居住地区別】



● 「利用したことがある」が約6割

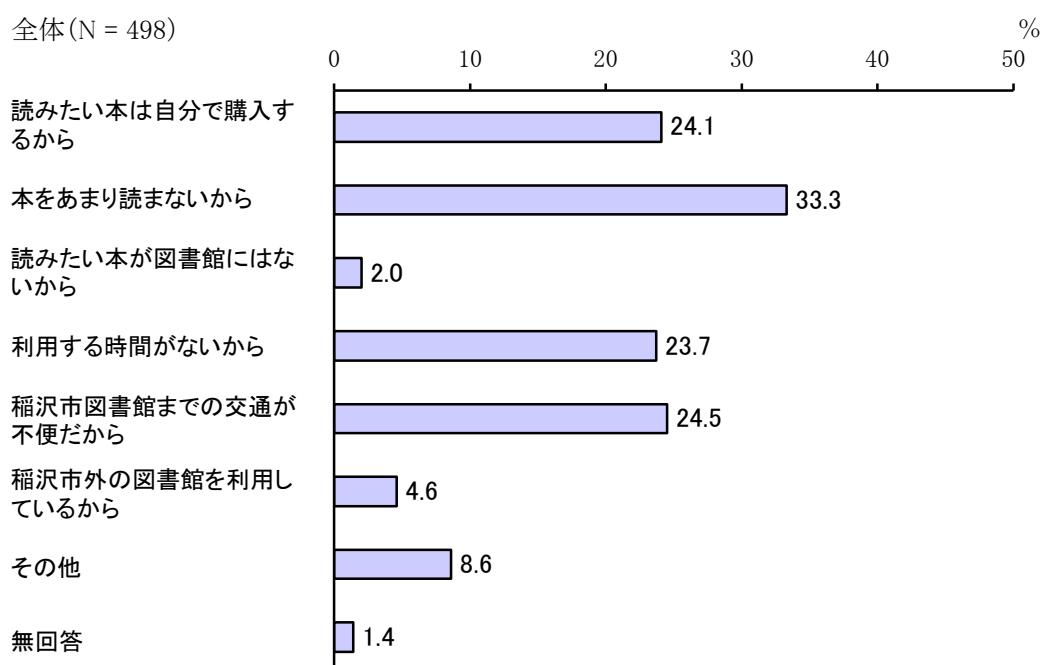
「はい」の割合が 62.7%、「いいえ」の割合が 35.8% となっています。

年齢別でみると、他に比べ、20 歳～29 歳、40 歳～49 歳で「はい」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、千代田・平和地区で「いいえ」の割合が高くなっています。

問12で「2. いいえ」と答えたかたにお聞きします。

問12-1 利用したことがない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位 : %

区分	有効回答数 (件)	読み 込 み す る か ら	読み 込 み す る か ら は 自 分 で	か ら	本 を あ ま り 読 ま な い	か ら	読み 込 み す る か ら が 図 書 館	か ら	利 用 す る 時 間 が な い	稻 沢 市 図 書 館 ま で の	稻 沢 市 交 通 が 不 便 だ か ら	稻 沢 市 外 の 図 書 館 を 利 用 し て い る か ら	そ の 他	無 回 答	
18・19歳	10	10.0	20.0	10.0	40.0	10.0	10.0	20.0	—						
20歳～29歳	23	21.7	21.7	—	26.1	13.0	—	21.7	—						
30歳～39歳	62	25.8	25.8	4.8	32.3	16.1	6.5	11.3	—						
40歳～49歳	52	26.9	30.8	1.9	42.3	19.2	3.8	13.5	—						
50歳～59歳	65	41.5	26.2	1.5	32.3	16.9	1.5	9.2	—						
60歳～64歳	51	21.6	43.1	2.0	27.5	19.6	5.9	2.0	3.9						
65歳以上	233	19.7	37.8	1.3	13.3	32.6	5.2	6.0	2.1						

【居住地区別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	読みたい本は自分で購入するから	から本をあまり読まない	にはないから読みたい本が図書館	から利用する時間がない	稻沢市図書館までの交通が不便だから	稻沢市外の図書館を利用しているから	その他	無回答
稻沢	102	30.4	32.4	2.0	25.5	18.6	1.0	10.8	—
小正	34	29.4	38.2	2.9	26.5	5.9	—	5.9	2.9
下津	29	31.0	27.6	6.9	31.0	24.1	6.9	10.3	3.4
明治	40	27.5	32.5	2.5	20.0	32.5	2.5	5.0	—
千代田	46	19.6	34.8	—	30.4	30.4	10.9	—	—
大里西	34	35.3	38.2	—	23.5	20.6	—	8.8	—
大里東	31	29.0	41.9	3.2	16.1	16.1	3.2	6.5	3.2
祖父江	87	12.6	36.8	3.4	16.1	25.3	6.9	9.2	2.3
平和	61	21.3	32.8	—	16.4	42.6	9.8	8.2	1.6
分からない	24	20.8	16.7	—	41.7	8.3	4.2	25.0	—

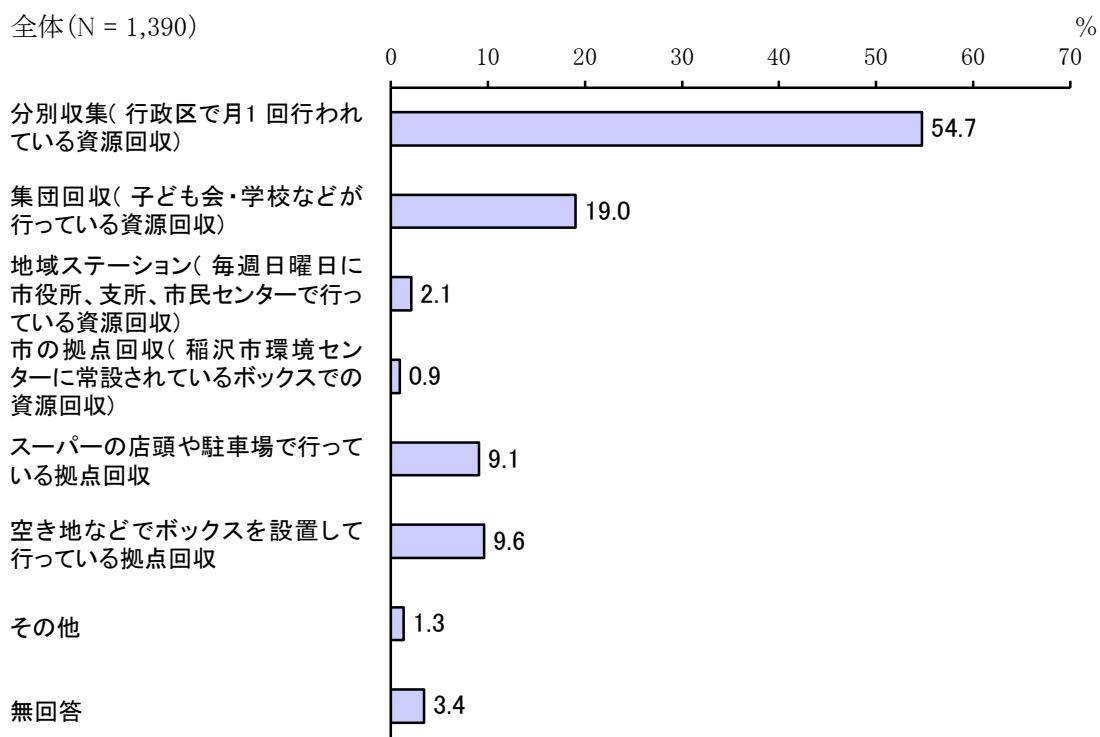
●利用しない理由は「本をあまり読まないから」

「本をあまり読まないから」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「稻沢市図書館までの交通が不便だから」の割合が 24.5%、「読みたい本は自分で購入するから」の割合が 24.1%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、50 歳～59 歳で「読みたい本は自分で購入するから」の割合が高くなっています。また、65 歳以上で「稻沢市図書館までの交通が不便だから」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、平和地区で「稻沢市図書館までの交通が不便だから」の割合が高くなっています。

問13 古紙などの資源の排出は、どの方法を最も利用していますか。(○は1つだけ)



【居住地区別】

单位：%

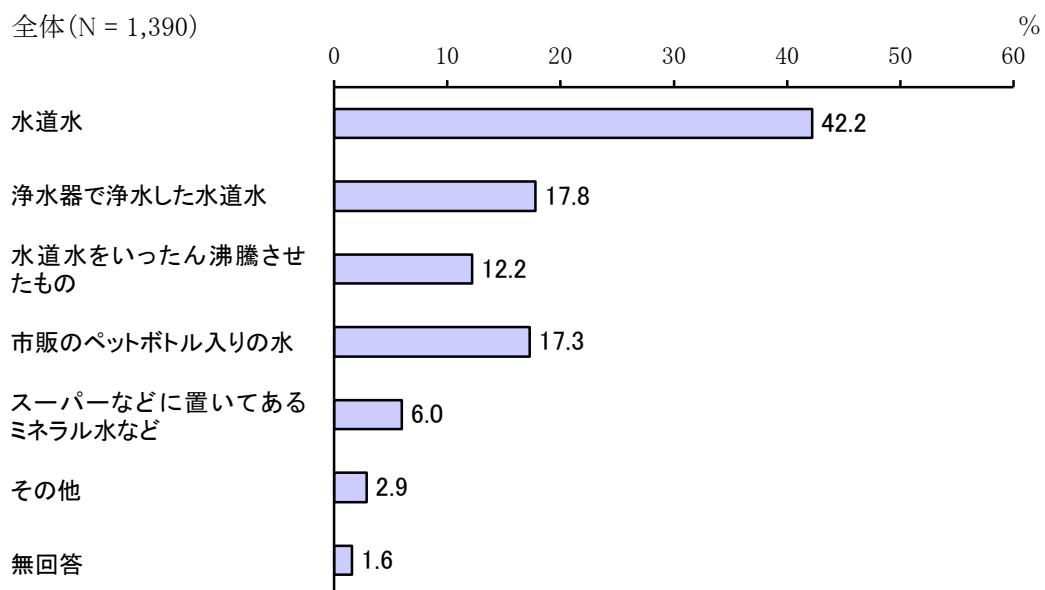
区分	有効回答数 (件)	源回収 1回行わ れてい る資 月	分別収集(行政 区で いる 資源)	学校など が行つ てい ・ る資源 回収)	集団回 収(子ど も会 つて い・ る資源 回収)	地域ス テーション (毎 週日曜日 に市役所、 市民セン ターで 行支 つて いる 資源 回収)	市の拠点回 収(稻沢市 環境セ ンターに常 設され ているボ ツクス)	車場で 行つて いる拠 点回 収	ス ーパーの 店頭や 駐車場で 行つて いる拠 点回 収	空き地 などでボ ッタク スを設置 して行つ ている拠 点回 収	その他	無回答
稲沢	336	58.3	16.1	2.1	0.3	12.2	6.5	0.9	3.6			
小正	135	64.4	11.1	4.4	1.5	7.4	5.2	1.5	4.4			
下津	99	46.5	11.1	3.0	1.0	20.2	15.2	2.0	1.0			
明治	102	53.9	28.4	2.0	—	5.9	5.9	2.0	2.0			
千代田	90	42.2	36.7	1.1	1.1	3.3	12.2	1.1	2.2			
大里西	101	55.4	16.8	2.0	1.0	7.9	13.9	1.0	2.0			
大里東	105	60.0	13.3	2.9	1.0	11.4	7.6	1.0	2.9			
祖父江	213	70.9	10.8	—	1.9	6.1	6.6	0.9	2.8			
平和	119	18.5	52.1	2.5	0.8	1.7	15.1	2.5	6.7			
分からない	53	43.4	3.8	3.8	1.9	15.1	28.3	1.9	1.9			

● 「分別収集を利用」が5割以上

「分別収集(行政区で月1回行われている資源回収)」の割合が54.7%と最も高く、次いで「集団回収(子ども会・学校などが行っている資源回収)」の割合が19.0%となっています。

居住地区別でみると、他に比べ、祖父江地区で「分別収集(行政区で月1回行われている資源回収)」の割合が、平和地区で「集団回収(子ども会・学校などが行っている資源回収)」の割合が高くなっています。

問14 飲料水として、最も利用する水は何ですか。(○は1つだけ)



【年齢別】

単位 : %

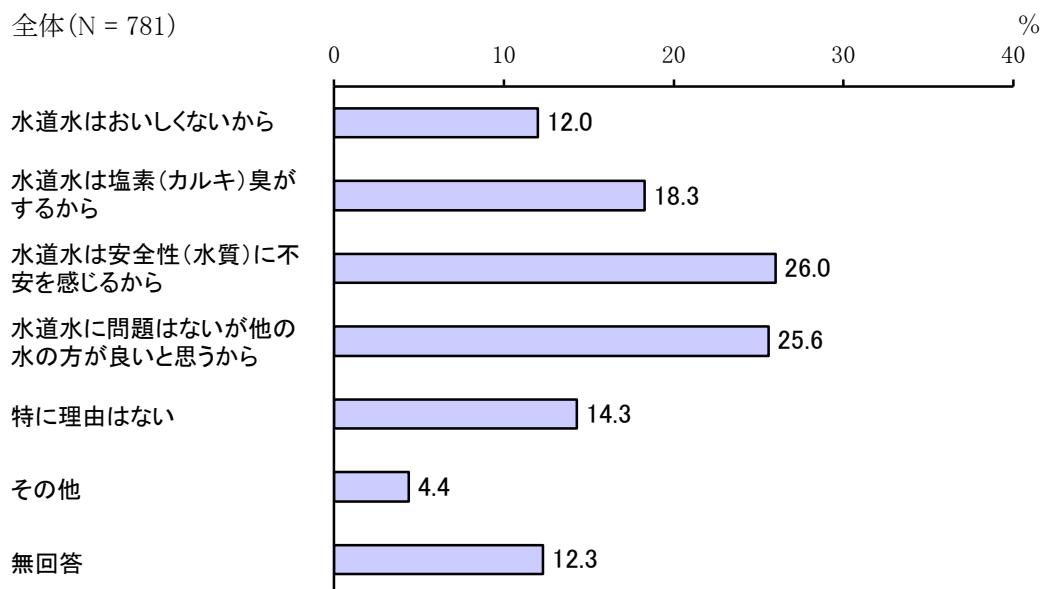
区分	有効回答数(件)	水道水	浄水器で浄水した水道水	水道水をいったん沸騰させたもの	市販のペットボトル入りの水	スーパーなどに置いてあるミネラル水など	その他	無回答
18・19歳	20	45.0	10.0	5.0	35.0	5.0	—	—
20歳～29歳	105	31.4	25.7	7.6	23.8	11.4	—	—
30歳～39歳	191	26.7	25.7	12.6	25.1	4.7	4.2	1.0
40歳～49歳	230	35.7	22.2	11.7	19.6	6.1	3.9	0.9
50歳～59歳	199	39.7	19.6	12.1	18.1	5.5	4.0	1.0
60歳～64歳	131	48.9	13.7	15.3	13.7	5.3	2.3	0.8
65歳以上	508	52.6	12.2	13.0	12.0	5.5	2.2	2.6

● 「水道水を利用」が65歳以上で高い割合

「水道水」の割合が42.2%と最も高く、次いで「浄水器で浄水した水道水」の割合が17.8%、「市販のペットボトル入りの水」の割合が17.3%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19歳、60歳～64歳、65歳以上で「水道水」の割合が高くなっています。また、18・19歳で「市販のペットボトル入りの水」の割合が高くなっています。

問14で「1. 水道水」以外を選択したかたにお聞きします。
 問14-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位 : %

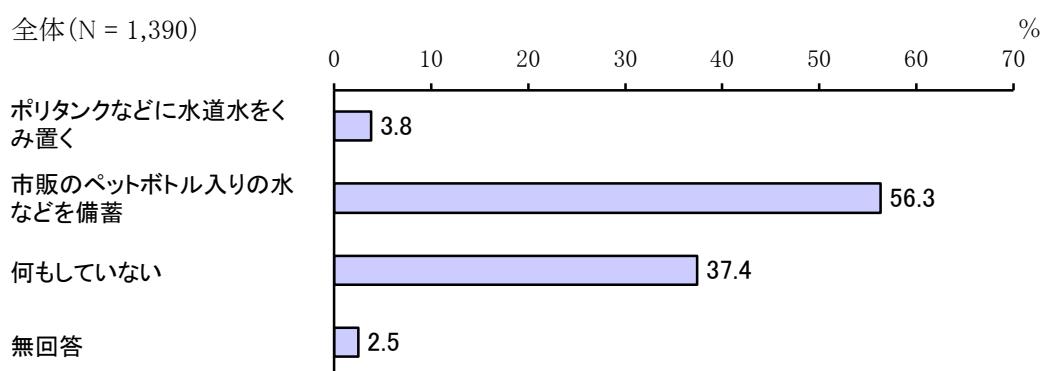
区分	有効回答数 (件)	水道水はおいしくないから	水道水は塩素(カルキ)臭がするから	水道水は安全性(水質)に不安を感じるから	良いが他の水の方がな	特に理由はない	その他	無回答
18・19歳	11	9.1	9.1	—	9.1	36.4	—	36.4
20歳～29歳	72	20.8	16.7	43.1	26.4	8.3	4.2	4.2
30歳～39歳	138	12.3	18.8	31.9	23.2	13.8	7.2	9.4
40歳～49歳	146	15.1	19.2	32.2	24.7	13.7	4.8	7.5
50歳～59歳	118	11.0	13.6	27.1	31.4	15.3	4.2	5.9
60歳～64歳	66	7.6	21.2	19.7	18.2	15.2	7.6	21.2
65歳以上	228	9.2	20.2	15.4	27.6	15.4	1.8	18.9

● 「水道水は安全性に不安を感じる」が高い割合

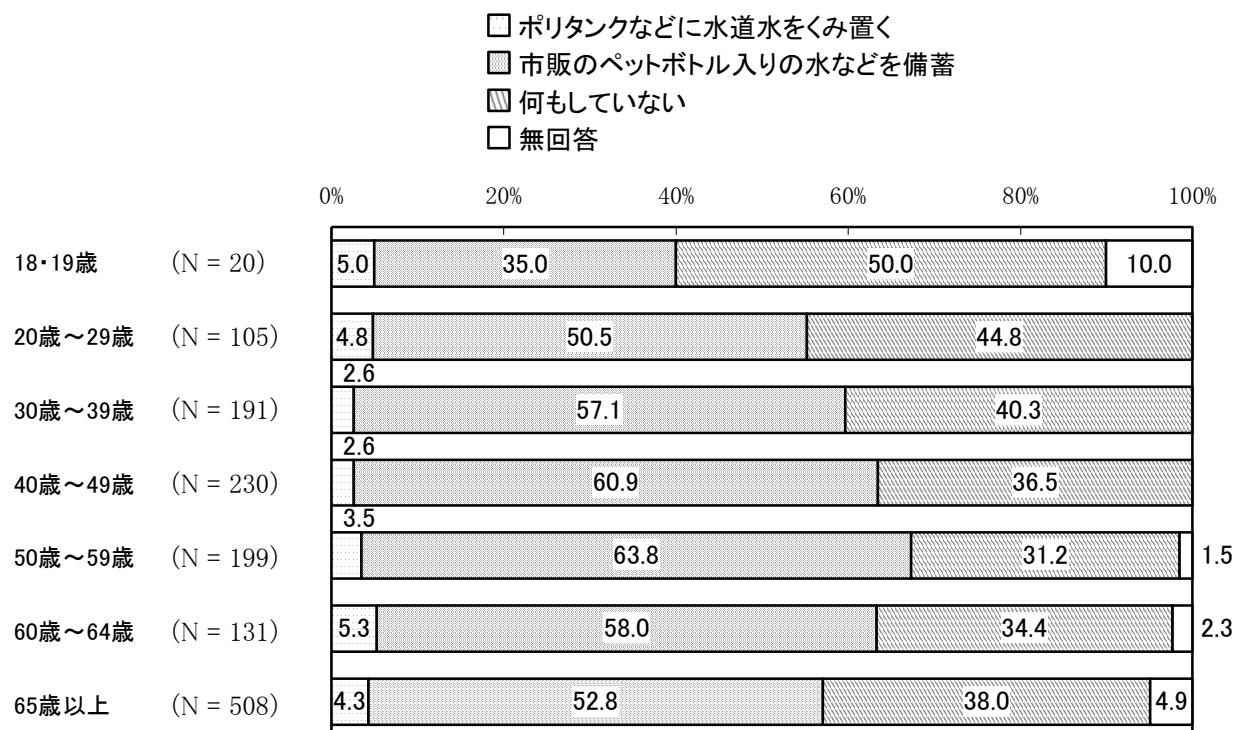
「水道水は安全性(水質)に不安を感じるから」の割合が26.0%と最も高く、次いで「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」の割合が25.6%、「水道水は塩素(カルキ)臭がするから」の割合が18.3%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「水道水はおいしくないから」の割合が高くなっています。また、50歳～59歳で「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」の割合が高くなっています。

問15 地震など災害時における飲料水対策をどのようにしていますか。(○は1つだけ)



【年齢別】



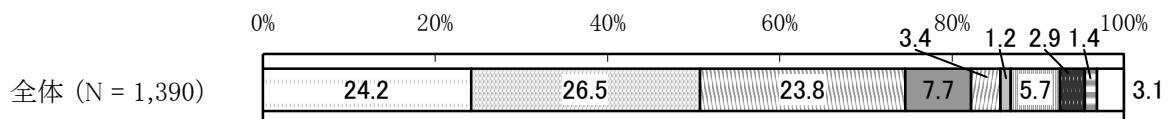
● 「ペットボトル入りの水などを備蓄」が半数以上

「市販のペットボトル入りの水などを備蓄」の割合が 56.3% と最も高く、次いで「何もしていない」の割合が 37.4% となっています。

年齢別でみると、他に比べ、50 歳～59 歳で「市販のペットボトル入りの水などを備蓄」の割合が高くなっています。また、18・19 歳で「何もしていない」の割合が高くなっています。

問 16 稲沢市では、住宅用火災警報器の設置が義務付けられています。お住まいの住宅の義務となる場所（寝室・こども部屋・階段上部）に住宅用火災警報器は設置されていますか。（○は1つだけ）

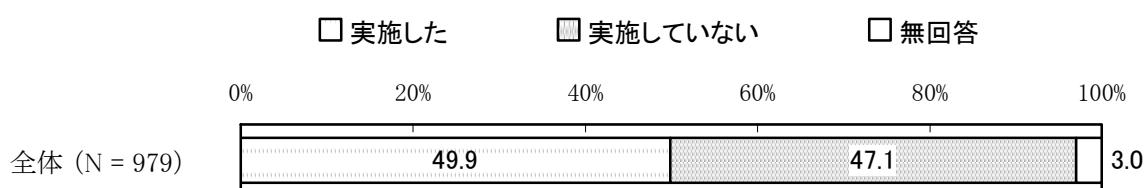
- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 一戸建て住宅で全て設置している | <input type="checkbox"/> 一戸建て住宅で一部設置している |
| <input checked="" type="checkbox"/> 一戸建て住宅で設置していない | <input type="checkbox"/> 賃貸の共同住宅で全て設置している |
| <input type="checkbox"/> 賃貸の共同住宅で一部設置している | <input type="checkbox"/> 賃貸の共同住宅で設置していない |
| <input type="checkbox"/> 持ち家の共同住宅で全て設置している | <input type="checkbox"/> 持ち家の共同住宅で一部設置している |
| <input type="checkbox"/> 持ち家の共同住宅で設置していない | <input type="checkbox"/> 無回答 |



● 「全て設置している」が約3割

「一戸建て住宅」「賃貸の共同住宅」「持ち家の共同住宅」で、全て設置しているの合計割合が37.6%となっています。

**問 16 で、「全て設置している」「一部設置している」と答えたかたにお聞きします。
問 16-1 住宅用火災警報器の作動確認を実施しましたか。（どちらかに○）**

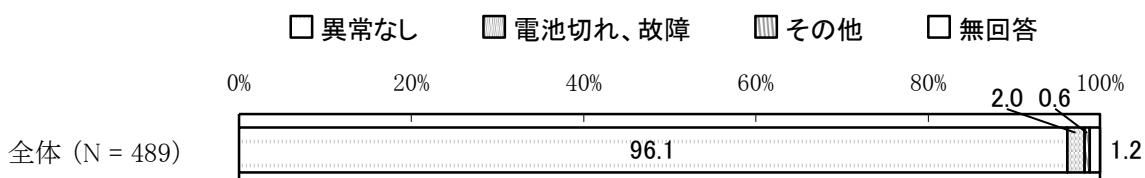


● 作動確認を「実施した」と「実施していない」では差異なし

「実施した」の割合が49.9%、「実施していない」の割合が47.1%となっています。

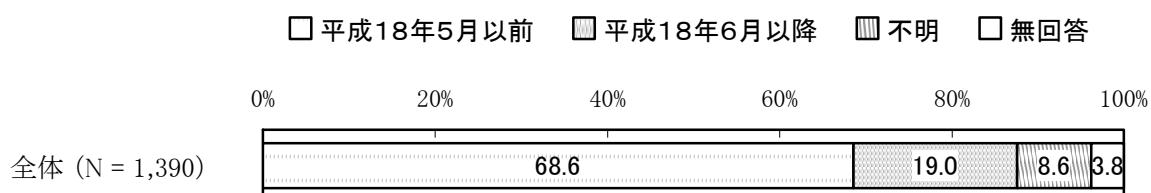
問 16－1 で、「1. 実施した」と答えたかたにお聞きします。

問 16－2 作動確認を実施した結果について選んでください。(○は1つだけ)



「異常なし」の割合が 96.1%、「電池切れ、故障」の割合が 2.0%となっています。

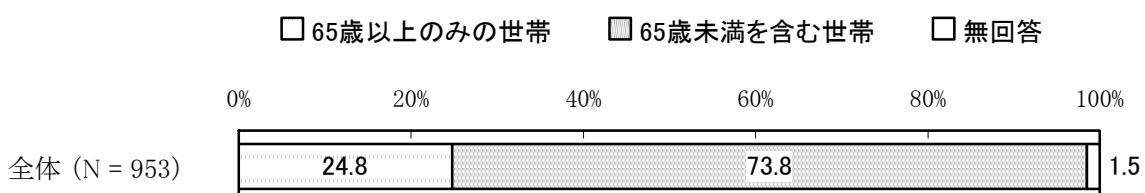
問 17 お住まいの住宅はいつ建てられましたか。(○は1つだけ)



「平成18年5月以前」の割合が 68.6%と最も高く、次いで「平成18年6月以降」の割合が 19.0%となっています。

問 17 で、「1. 平成18年5月以前」と答えたかたにお聞きします。

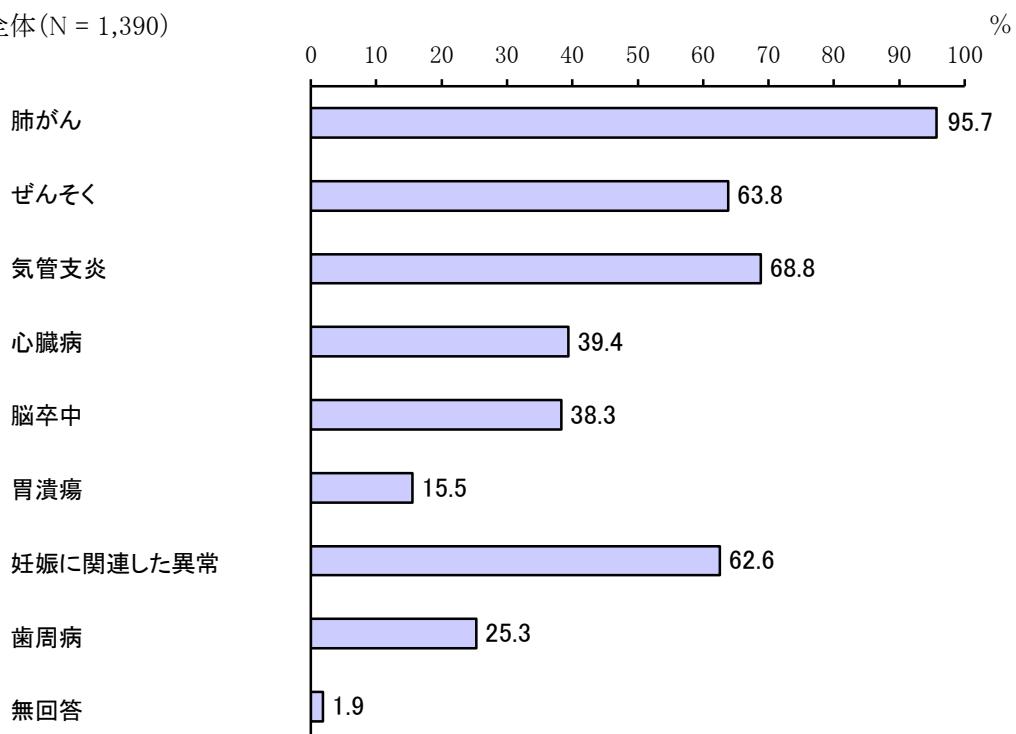
問 17－1 家族構成について選んでください。(どちらかに○)



「65歳以上ののみの世帯」の割合が 24.8%、「65歳未満を含む世帯」の割合が 73.8%となっています。

**問18 次の病気のうち、たばこが影響すると知っているものはありませんか。
(あてはまるもの全てに○)**

全体(N = 1,390)



【年齢別】

単位：%

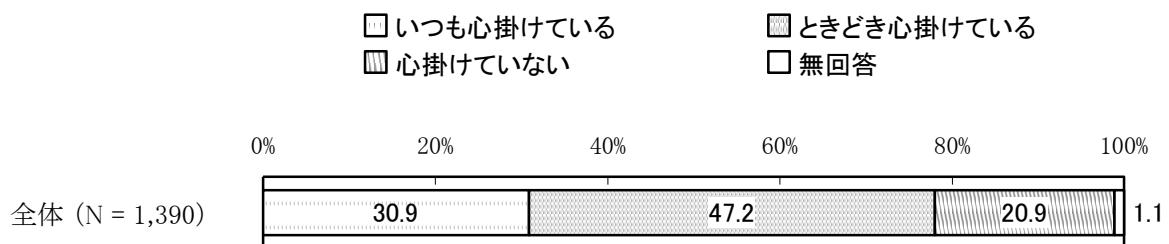
区分	有効回答数 (件)	肺 が ん	ぜ ん そ く	気 管 支 炎	心 臓 病	脳 卒 中	胃 潰 瘍	妊 娠 に 関 連 し た 異 常	歯 周 病	無 回 答
18・19歳	20	95.0	50.0	70.0	35.0	40.0	25.0	60.0	50.0	—
20歳～29歳	105	94.3	61.0	58.1	24.8	39.0	15.2	81.9	39.0	1.9
30歳～39歳	191	94.8	62.3	68.6	36.1	39.3	12.6	72.8	33.0	2.1
40歳～49歳	230	98.7	57.0	63.0	37.8	44.3	13.5	68.3	27.0	0.4
50歳～59歳	199	97.5	64.3	71.4	43.2	43.2	19.1	69.3	28.6	0.5
60歳～64歳	131	96.9	64.9	69.5	45.8	32.8	16.0	58.0	17.6	0.8
65歳以上	508	94.3	68.5	72.8	41.1	34.3	15.9	51.2	18.5	3.0

●たばこが影響する病気は「肺がん」と各年代が認識

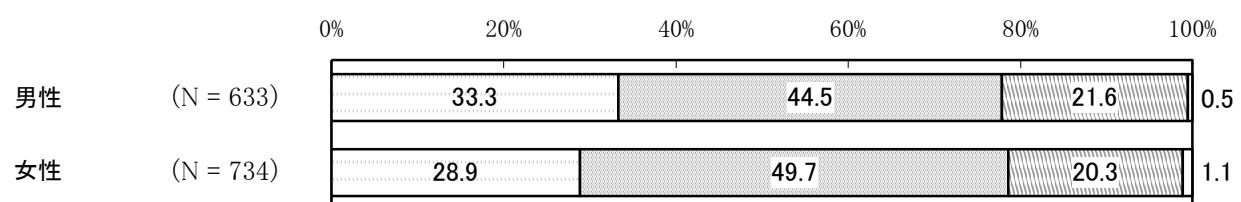
「肺がん」の割合が95.7%と最も高く、次いで「気管支炎」の割合が68.8%、「ぜんそく」の割合が63.8%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、20歳～29歳で「妊娠に関連した異常」の割合が高くなっています。

問19 日頃から健康維持・増進のために早歩きや階段を使ったりするなど、意識的に体を動かすように心掛けていますか。(○は1つだけ)



【性別】



【年齢別】

区分	有効回答数 (件)	単位：%			
		いつも心掛けている	ときどき心掛けている	心掛けていない	無回答
18・19歳	20	45.0	20.0	35.0	—
20歳～29歳	105	19.0	52.4	27.6	1.0
30歳～39歳	191	16.8	49.7	33.0	0.5
40歳～49歳	230	19.1	57.8	23.0	—
50歳～59歳	199	23.6	51.3	24.1	1.0
60歳～64歳	131	29.0	44.3	26.7	—
65歳以上	508	46.5	41.1	10.8	1.6

【職業別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	いつも心掛けている	ときどき心掛けている	心掛けていない	無回答
会社員	410	23.7	52.0	23.9	0.5
公務員	32	31.3	43.8	25.0	—
自営業者	73	21.9	53.4	23.3	1.4
農業従事者	33	36.4	42.4	21.2	—
主婦・主夫(家事のみ)	193	33.2	47.2	19.2	0.5
主婦・主夫(内職・パート従事者)	235	26.4	51.5	21.3	0.9
学生	40	20.0	47.5	32.5	—
無職	312	45.2	38.1	15.4	1.3
その他	50	30.0	42.0	24.0	4.0

● 7割以上のかたが健康に「いつも・ときどき心掛けている」

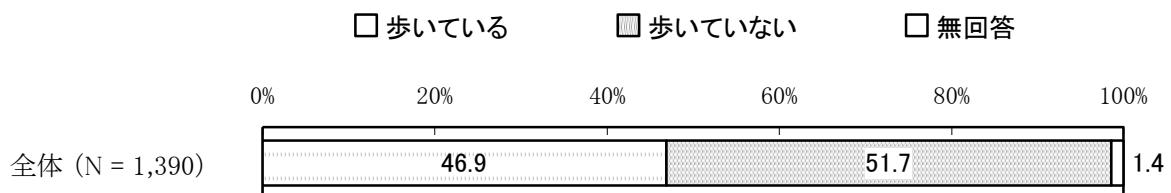
「ときどき心掛けている」の割合が 47.2%と最も高く、次いで「いつも心掛けている」の割合が 30.9%、「心掛けていない」の割合が 20.9%となっています。

性別でみると、女性で「ときどき心掛けている」の割合が高くなっています。

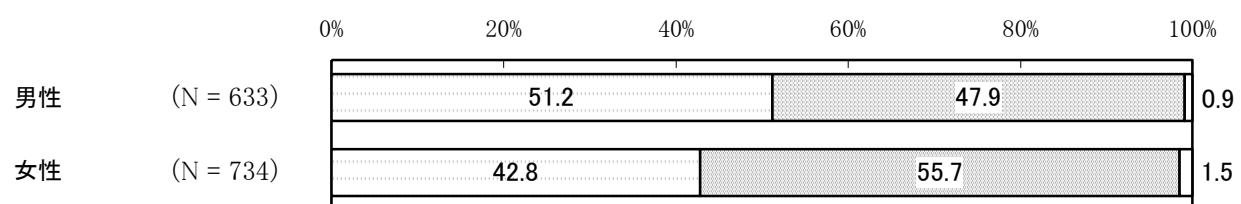
年齢別でみると、他に比べ、18・19歳、65歳以上で「いつも心掛けている」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、無職で「いつも心掛けている」の割合が高くなっています。また、学生で「心掛けていない」の割合が高くなっています。

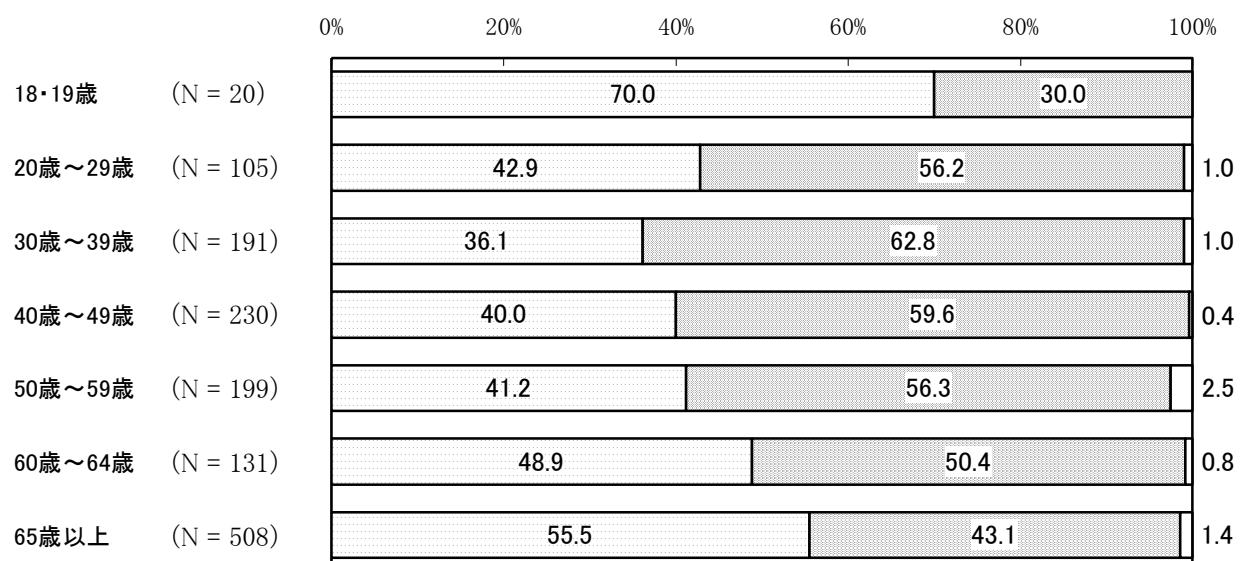
問20 1日に30分以上歩いていますか。(どちらかに○)



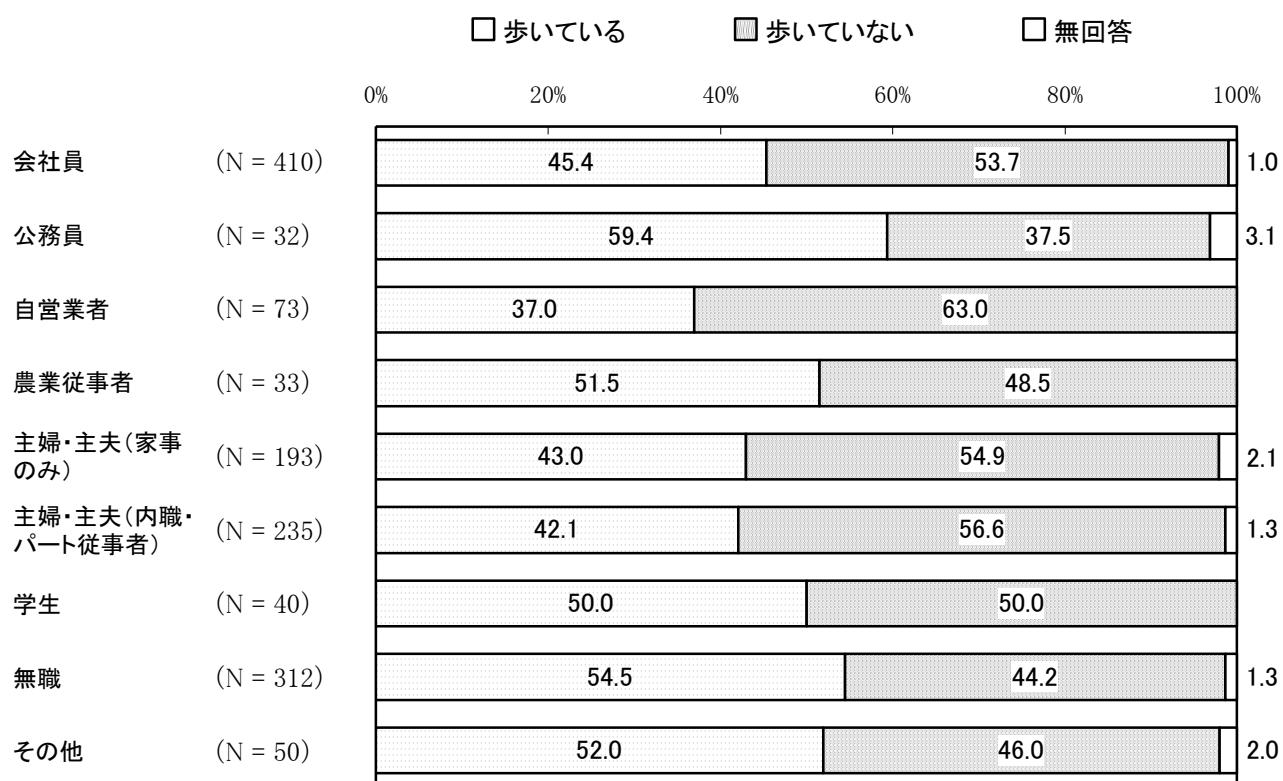
【性別】



【年齢別】



【職業別】



●約5割のかたが「歩いていない」

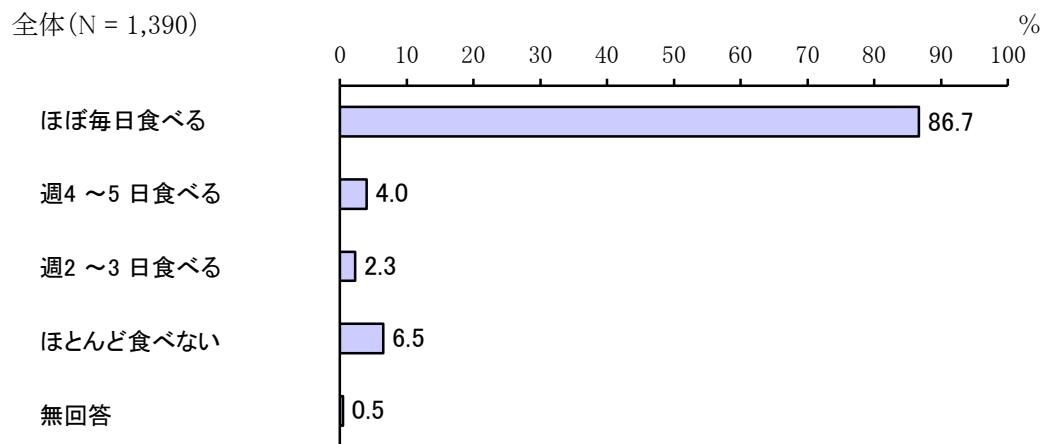
「歩いている」の割合が46.9%、「歩いていない」の割合が51.7%となっています。

性別でみると、男性で「歩いている」の割合が高くなっています。

年齢別でみると、他に比べ、18・19歳で「歩いている」の割合が高くなっています。また、30歳～39歳で「歩いていない」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、公務員で「歩いている」の割合が高くなっています。また、自営業者で「歩いていない」の割合が高くなっています。

問21 朝食を毎日食べていますか。(○は1つだけ)



【年齢別】

単位：%

区分	有効回答数(件)	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答
18・19歳	20	65.0	10.0	10.0	15.0	—
20歳～29歳	105	69.5	9.5	3.8	17.1	—
30歳～39歳	191	74.3	7.3	5.8	12.0	0.5
40歳～49歳	230	82.2	5.2	3.0	9.1	0.4
50歳～59歳	199	88.4	4.0	1.0	6.0	0.5
60歳～64歳	131	92.4	3.1	1.5	3.1	—
65歳以上	508	96.1	1.2	0.6	1.8	0.4

【職業別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	ほぼ毎日食べる	週4～5日食べる	週2～3日食べる	ほとんど食べない	無回答
会社員	410	79.5	5.9	3.9	10.5	0.2
公務員	32	75.0	6.3	3.1	15.6	—
自営業者	73	89.0	4.1	2.7	4.1	—
農業従事者	33	93.9	—	—	6.1	—
主婦・主夫(家事のみ)	193	95.3	1.6	0.5	2.6	—
主婦・主夫(内職・パート従事者)	235	90.6	3.0	0.9	4.7	0.9
学生	40	65.0	12.5	10.0	12.5	—
無職	312	92.0	2.9	1.3	3.5	0.3
その他	50	80.0	6.0	2.0	10.0	2.0

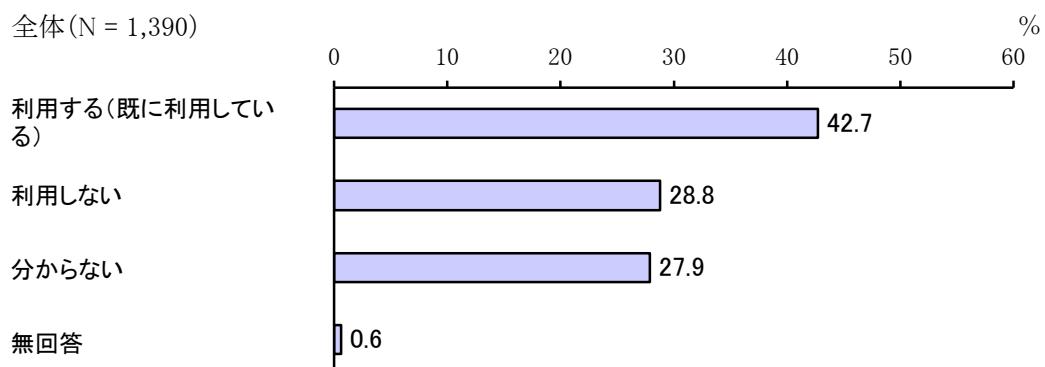
● 「ほぼ毎日食べる」が各年代でトップ

「ほぼ毎日食べる」の割合が 86.7%と最も高くなっています。

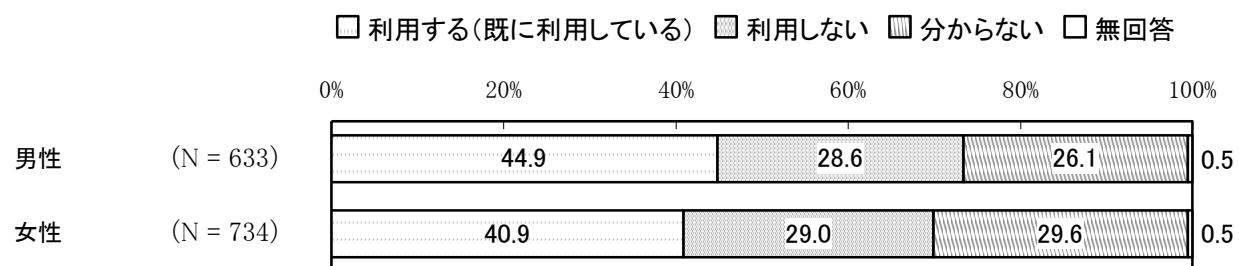
年齢別でみると、年齢が高くなるにつれて「ほぼ毎日食べる」の割合が高くなっています。

職業別でみると、他に比べ、会社員、公務員、学生で「ほとんど食べない」の割合が「ほぼ毎日食べる」に次いで高くなっています。

**問22 あなたや家族のかたが病気などになったとき、稻沢市民病院を利用しますか。
(○は1つだけ)**



【性別】



【年齢別】

単位 : %

区分	有効回答数 (件)	利用する (既に利用) している	利用 しない	分からぬ	無回答
18・19 歳	20	25.0	45.0	30.0	—
20 歳～29 歳	105	43.8	35.2	21.0	—
30 歳～39 歳	191	31.4	34.0	34.0	0.5
40 歳～49 歳	230	39.1	33.0	27.4	0.4
50 歳～59 歳	199	38.7	33.7	27.1	0.5
60 歳～64 歳	131	37.4	27.5	34.4	0.8
65 歳以上	508	52.2	21.5	25.8	0.6

【居住地区別】

単位：%

区分	有効回答数 (件)	利用する (既に利用 している)	利用しない	分からぬ	無回答
稲沢	336	50.0	24.4	25.3	0.3
小正	135	64.4	16.3	18.5	0.7
下津	99	42.4	26.3	31.3	—
明治	102	36.3	34.3	28.4	1.0
千代田	90	32.2	27.8	38.9	1.1
大里西	101	57.4	18.8	22.8	1.0
大里東	105	64.8	19.0	16.2	—
祖父江	213	20.2	44.6	34.7	0.5
平和	119	20.2	48.7	31.1	—
分からぬ	53	37.7	17.0	45.3	—

●65歳以上で「利用する」が5割以上

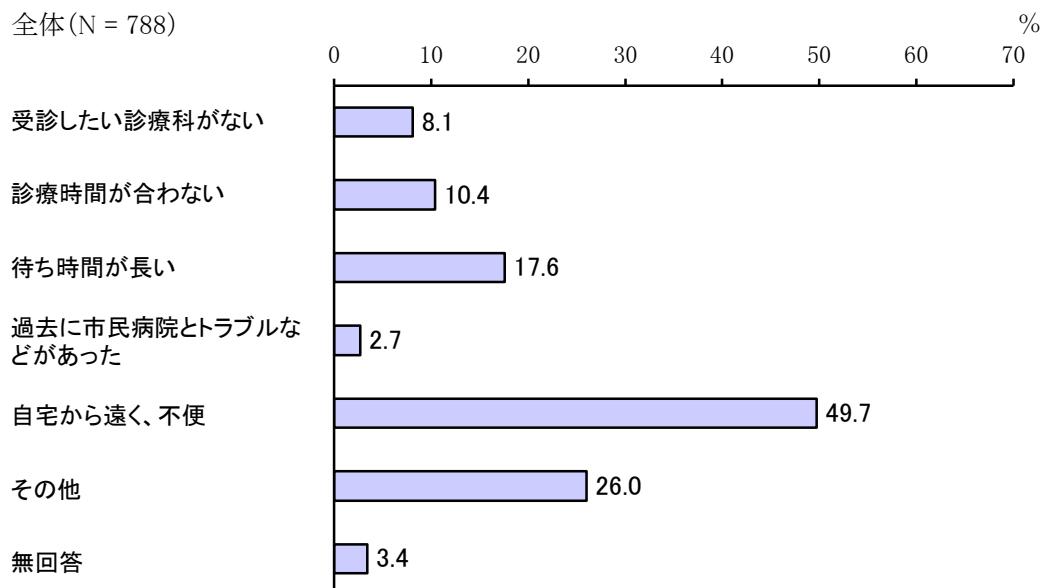
「利用する（既に利用している）」の割合が42.7%と最も高く、次いで「利用しない」の割合が28.8%、「分からぬ」の割合が27.9%となっています。

性別でみると、大きな差異はみられません。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。また、18・19歳で「利用しない」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、小正・大里東地区で「利用する（既に利用している）」の割合が高くなっています。また、祖父江・平和地区で「利用しない」の割合が高くなっています。

問22で、「2. 利用しない」「3. 分からない」と答えたかたにお聞きします。
問22-1 その理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)



【年齢別】

単位 : %

区分	有効回答数 (件)	ない受診したい診療科が	診療時間が合わない	待ち時間が長い	過去に市民病院とトラブルなどがあった	自宅から遠く、不便	その他	無回答
18・19歳	15	20.0	—	6.7	—	53.3	26.7	6.7
20歳～29歳	59	5.1	13.6	25.4	—	55.9	23.7	3.4
30歳～39歳	130	6.2	16.2	23.8	—	39.2	32.3	2.3
40歳～49歳	139	8.6	13.7	21.6	5.8	38.8	29.5	2.2
50歳～59歳	121	13.2	16.5	17.4	3.3	44.6	24.8	4.1
60歳～64歳	81	9.9	7.4	19.8	—	55.6	23.5	1.2
65歳以上	240	5.8	2.9	10.0	3.8	60.4	22.9	5.0

【居住地区別】

単位：%

区分	有効回答数（件）	ない受診したい診療科が	診療時間が合わない	待ち時間が長い	過去に市民病院とトラブルなどがあつた	自宅から遠く、不便	その他	無回答
稻沢	167	12.6	11.4	25.1	5.4	22.2	35.3	4.8
小正	47	25.5	14.9	31.9	—	17.0	25.5	2.1
下津	57	5.3	17.5	21.1	1.8	35.1	45.6	1.8
明治	64	3.1	7.8	12.5	3.1	67.2	23.4	1.6
千代田	60	6.7	10.0	21.7	3.3	65.0	18.3	1.7
大里西	42	19.0	26.2	21.4	4.8	11.9	38.1	—
大里東	37	8.1	10.8	16.2	2.7	18.9	48.6	5.4
祖父江	169	1.8	4.7	11.2	1.8	78.7	13.6	4.7
平和	95	1.1	5.3	8.4	—	86.3	10.5	3.2
分からぬ	33	12.1	9.1	15.2	3.0	30.3	36.4	—

●利用しない理由は「自宅から遠く、不便」が約5割

「自宅から遠く、不便」の割合が49.7%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」の割合が17.6%、「診療時間が合わない」の割合が10.4%となっています。

年齢別でみると、他に比べ、65歳以上で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

居住地区別でみると、他に比べ、明治・千代田・祖父江・平和地区で「自宅から遠く、不便」の割合が高くなっています。

Ⅲ 前回の調査結果により事業に活用した事例の進捗状況

●効果的な市政情報の提供に向けて【秘書広報課】

設問	現在、インターネットを利用していますか。
調査結果	「主にパソコンでインターネットを利用している」と「パソコン以外の機器（携帯電話など）で、インターネットを利用している」を合わせた「利用している」が 60.5%、「利用していない」が 32.3%となりました。
活用した事例 の進捗状況	インターネットを利用しているかたが多いことから、トップページのデザインをリニューアルしました。 また、SNSを活用して情報発信するため facebook「い～ネ！いなざわ」を導入しました。

●いきいきいなざわ・健康 21（第 2 次）計画推進【健康推進課】

設問	1. たばこが影響する病気について知っていますか。 2. 日頃から体を動かすよう心掛けていますか。 3. 1 日に 30 分以上歩いていますか。 4. 朝食を毎日食べていますか。
調査結果	いきいきいなざわ・健康 21 計画時（平成 16 年度）のアンケート結果より 1. 病気とたばこの関係は、ほとんどの年代で認識度が上がっています。 2. 60 歳以上のかたで運動を心掛けている人は、6 ポイント低くなっています。 3. 1 日に 30 分以上歩いているかたは、全体で 15 ポイント高くなっています。 4. 60 歳以上のかたが朝食を毎日食べる割合は、平成 16 年度より 3 ポイント低くなっています。
活用した事例 の進捗状況	いきいきいなざわ・健康 21（第 2 次）計画中の評価指標として活用しています。また、市民の健康づくりと生活習慣の改善を推進するため、いきいきいなざわいなッピー健康マイレージ事業を実施しています。

●農業への理解促進に向けて【農務課】

設問	野菜づくりなどの農作業について興味や経験はありますか。
調査結果	農作業への興味や経験は、「関心はあるが、農作業をしたことではない」が 35.3%と最も高く、次いで「関心はなく、農作業をしたこともない」が 25.9%、「日常的に農作業をしている」が 18.4%となりました。
活用した事例の進捗状況	基本的な野菜の栽培知識を習得し農業への興味や生きがいづくりの一躍になるよう、「はつらつ農業塾（生きがいコース）」を継続しています。

●地域猫活動に取り組むことができるかの意識調べ【環境保全課】

設問	1. 飼い主のいない猫についてどう思いますか。 2. 地域猫活動を知っていますか。動物のボランティア活動をやってみたいですか。
調査結果	1. 「何か対策をとる必要がある」と答えられたかたが 35.7%となりました。 2. 「動物のボランティア活動をやりたくない」と答えられたかたが 59.2%を占め、「やっている」または「やりたい」と答えられたかたは 8.2%にとどまりました。
活用した事例の進捗状況	1. 猫の飼い方についてのチラシを作成し、環境委員会議で環境委員に配布しています。 2. 地域猫活動について、猫の飼い方の一例であるということを周知するとともに理解を深めていただくためホームページに掲載しました。

●水道水の安全についての意識調べ 飲料水を備蓄することについての意識調べ【水道業務課】

設問	1. 飲料水として、最も利用する水は何ですか。また、水道水を利用していらない理由は何ですか。 2. 地震など災害時における飲料水対策をどのようにされていますか。
調査結果	1. 飲料水としても最も利用する水は、「水道水」が 44.4%と最も高く、次いで「浄水器で浄水した水道水」が 19.0%、「市販のペットボトル入りの水」が 16.2%となりました。 また、水道水を飲料水として利用していない理由は、「水道水に問題はないが他の水の方が良いと思うから」が 30.3%と最も高く、次いで「安全性（水質）に不安を感じるから」が 23.7%、「特に理由はない」が 15.1%となっています。 2. 地震における飲料水対策は、「市販のペットボトル入りの水等を備蓄」が 55.4%と最も高く、次いで「何もしていない」が 36.4%、「ポリタンクなどに水道水をくみ置き」が 4.9%となりました。
活用した事例 の進捗状況	1. 第 5 次総合計画などで示されている目標値に対する達成度を検証することに利用しています。 2. 飲料水の備蓄について今後の啓発活動の方針・方法を検討する根拠として活用しています。

●市民の図書館の利用状況調べ【図書館】

設問	図書館を利用したことがありますか。また、利用したことがない理由は何ですか。
調査結果	利用の有無は、「ある」が 58.1%、「ない」が 39.8%となりました。利用したことがない理由は、「本をあまり読まない」が 35.7%と最も高く、次いで「読みたい本は自分で購入する」が 29.0%、「市図書館までの交通が不便だから」が 21.0%となりました。
活用した事例 の進捗状況	図書館への関心を呼び起こすよう講座・講演などを主催し、更なる利用を図っていきます。また、多くの方が利用できるよう中央図書館では平成 27 年 4 月より開館時間を「午前 10 時から午後 7 時まで」から「午前 9 時 30 分から午後 7 時 30 分まで」に拡大するとともに、休日の振替休館日を削減しました。

●住宅用火災警報器などの設置状況調べ【消防本部予防課】

設問	1. お住まいの住宅には、義務となる場所に住宅用火災警報器が設置されていますか。 2. 住宅用火災警報器以外に、どのような防災機器などを家庭で備えていますか。
調査結果	1. 住宅用火災警報器の設置状況は、「設置している」が 53.3%と最も高く、次いで「設置していない」が 28.7%、「一部設置している」が 15.5%となっています。 2. 家庭で備えている住宅用火災警報器以外の防災機器は、「住宅用消火器（一般家庭向けの、小型で軽く、操作が簡単な消火器）」が 48.8%と最も高く、次いで「特に備えていない」が 34.9%、「水バケツ」が 17.7%となりました。
活用した事例の進捗状況	1. 春と秋に実施する「全国火災予防運動」の期間に、住宅用火災警報器普及啓発のチラシなどを設置率の低い年齢層を中心に配布しました。 2. 区や事業所の消防訓練時や予防課事業である消防ひろばや防火管理講習において市民に対して、住宅用火災警報器設置の重要性を周知しています。

●市民に利用される市民病院に向けて【市民病院管理課】

設問	あなたや家族のかたが病気などになったとき、稻沢市民病院を利用しますか。また、利用しない理由は何ですか。
調査結果	「利用する（利用している）」が 42.7%で最も高く、次いで「わからない」が 29.7%、「利用しない」が 26.7%でした。年齢別では、若い年代で利用率は低く、年齢が上がるほど利用率が高くなっています。 利用しない理由としては、「自宅から遠く、不便」が 53.2%と最も高く、次いで「待ち時間が長い」が 23.7%で主な理由になっています。
活用した事例の進捗状況	若い世代で利用率が低いため、閲覧する頻度の高いホームページやスマートフォンで病院情報の発信に努めています。 「待ち時間が長い」という回答が多かったため、待ち時間対策について院内で検討を重ねています。一部の診療科ブロックで、医療関連の情報紙などを設置し自由に閲覧できるようにしました。

第 23 回市政世論調査

市民のこえ

調査結果のまとめ

発行年月 平成 28 年 12 月

発行 稲沢市

編集 稲沢市市長公室秘書広報課

稻沢市稻府町 1 (〒492-8269)

T E L 0587 (32) 1111

F A X 0587 (23) 1489